

華中調查通報第二一四號
昭和十六年七月

南京市政公報抄（邦譯） 民國三十年四月十五日 第六十九期

興亞院華中連絡部

(分類 110.3/-1)

CLASSIFIED
C317,922
G113
9

發送先

本院
華北連絡部次長
蒙疆、廈門各連絡部長官
青島出張所長
漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
陸軍參謀次長
支那派遣軍總參謀長
登集團總參謀長
支那派遣軍總司令部報道部長
中支那派遣憲兵隊司令官
上海憲兵隊長
特務機關本部長
上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、
安慶、寧波、特務機關長
漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長
上海方面海軍根據地隊司令官
海軍上海駐在武官長
第一海軍經理部長
支那方面艦隊報道部長
漢口海軍特務部長
在南京大使館
在上海、南京、漢口、各總領事
杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
外務省大臣官房文書課
滿鐵上海事務所
東亞研究所
上海
東京
中華民國法制研究會

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

- 一、南京特別市政府財政局征收箔類稅章程 一 頁
- 二、南京市銀行章程 5

南京特別市政府財政局征收箔類稅章程

- 第一條 本市區域内ニ於テ箔類商ヲ經營スルモノハ本章程ノ規定ニ依リ箔類稅ヲ納入スベシ
- 第二條 箔類稅ノ徵收ニ際シテハ南京特別市政府ニ於テ一定ノ個所ヲ指定シ價值ノ百分ノ十ノ稅率ヲ以テ之ヲ徵收ス
- 第三條 箔類商人ハ箔類稅納入ニ際シ徵收機關ニ於テ記入下付スル三聯ノ受取證ヲ受領スベシ
- 第四條 箔類商人ガ納入スベキ稅額ヲ隱匿、脫稅又ハ過少申告ヲナシタルトキハ不足分ノ納入ヲ命ズルト共ニ納入スベキ全稅額ノ二倍以上五倍以下ノ罰金ニ處ス
- 第五條 納稅受取證及罰金受取證ハ本府財政局ニテ追番號ヲ附シ徵稅機關ニ交付シ捺印記入ノ上納入者ニ下付ス

1

6

- 第六條 本章程ニ不備ノ點アラバ隨時之ヲ修正スルコトヲ得
- 第七條 本章程ハ行政院ニ申請シ許可ノ上之ヲ施行ス

2

南京市銀行章程

(奉財政部特字第一三五號批修正)

第一章 總 則

- 第一條 本銀行ハ南京市立銀行ニシテ南京市銀行股份有限公司ト稱シ地方金融ノ調整、經濟建設ノ促進ヲ以テ主旨トス且本銀行ハ南京市政府ニ於テ財政部ニ申請シ登録ス
- 第二條 本銀行ハ南京市ニ設置シ且本市繁盛區域及其ノ他重要商埠地ニ辦事處ヲ設置スルコトヲ得
- 第三條 本銀行ニ於テ財政部ニ申請シ認可ヲ受クルコトヲ要ス但シ市政府ニ於テ財政部ニ申請シ認可ヲ受クルコトヲ要ス
- 第四條 本銀行ノ營業期限ハ許可登録ノ日ヨリ三十年トス
- 第五條 期限滿了シタルトキハ市政府ニ於テ財政部ニ申請シ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第四條 本銀行ノ公告方法ハ新聞登載及郵便通達ヲ以テ之ヲ行フ

第二章 資 本

第五條 本銀行ノ資本總額ハ國幣百萬元トス但シ南京特別市政府ニ於テ二期ニ分チテ拂込ムモノトス

前項ノ資本ハ増加ノ必要アルトキハ市政府ニ於テ財政部ノ認可ヲ得増資又ハ民間株ノ募集ヲナスコトヲ得

第三章 業 務

第六條 本銀行ノ營業範圍左ノ如シ

- 一 預金受付
- 二 貸 付
- 三 爲替及荷爲替
- 四 手形ノ賣買及割引
- 五 有價證券ノ賣買

- 六 金銭收支ノ代理
 - 七 公債及社債ノ代理募集
 - 八 金庫業
 - 九 小資本貸借ノ處理
 - 十 市内各公共機關及團體ノ財産又ハ基金ノ保管
 - 十一 其ノ他ノ貴重物品ノ保管
 - 十二 中央儲備銀行及其ノ他各行號ト特約事項ノ締結
- 第七條 本銀行ハ市金庫ヲ代理シ且市公債ヲ募集シ償還支拂利子ノ取扱ヒヲナスコトヲ得
- 第八條 本銀行ノ貸付ハ左記各項ヲ以テ限度トナス
- 一 糧食及各種農工業原料購入ニ關スル貸付
 - 二 水利ノ開發、修築ニ關スル貸付
 - 三 交通事業ニ關スル貸付

- 四 衛生事業開設ニ關スル貸付
 - 五 質業ニ關スル貸付
 - 六 實業振興、市政繁榮ニ關スル貸付
 - 七 其ノ他經濟建設ニ關スル貸付
- 第九條 本銀行ハ不動産ヲ購入又ハ引受クルコトヲ得ズ但シ營業上必需ノ不動産ハ此ノ限りニ在ラズ
- 第四章 組織
- 第十條 本銀行ハ理事七人ヲ置キ理事會ヲ組織シ理事一人ハ市財政局長之ヲ擔任シ其ノ他ノ理事六人ハ市長之ヲ任命又ハ招聘ス任期ハ三年トスルモ重任スルコトヲ妨ゲズ
- 理事會ハ理事長一人、常務理事二人ヲ置キ市長之ヲ指定ス
- 理事長及各理事ノ氏名、本籍ハ市政府ニ於テ財政部ニ報告ス
- 第十一條 本銀行ハ監査役三人ヲ置キ監査役會ヲ組織シ市長之ヲ任

命又ハ招聘ス任期ハ一年トシ重任スルコトヲ妨ゲズ
監査役會ハ常駐監査役一人ヲ置キ市長之ヲ指定ス
常駐監査役及監査役ノ氏名、本籍ハ市政府ニ於テ財政部ニ報
告ス

第十二條 本銀行ノ理事、監査役ノ選任方法ハ民間株募集ノトキ別
ニ之ヲ定ム

第十三條 本銀行ハ經理一人、副經理一人ヲ理事會ニ於テ市長ノ推
薦ニ依リ之ヲ任命シ且ツ財政部ニ報告ス

本銀行ハ事務ノ必要ニ因リ襄理一人乃至二人ヲ置クコトヲ得
但シ經理ガ理事會ノ同意ヲ得之ヲ任命ス

第十四條 經理ハ對内的ニ全行ノ事務ヲ綜理シ對外的ニ本行ヲ代表
ス副經理ハ經理ヲ輔佐シ全行ノ事務ヲ處理ス襄理ハ副經理ノ

指定スル事務ヲ處理ス

第五章 理事會及監査役會

第十五條 理事會ノ職權左ノ如シ

- 一 各種規則ノ制定
 - 二 業務方針ノ審定
 - 三 辦事處ノ設立又ハ廢止
 - 四 對外各種契約ノ審定
 - 五 各種支拂ノ審定
 - 六 豫算、決算ノ審定
 - 七 重要職員進退ノ審定
 - 八 職員ノ獎勵、救養、慰勞金分配ノ議定
- 第十六條 理事會議ハ毎月少クモ一回開催シ理事長之ヲ召集ス理事
ノ過半数ノ出席ヲ以テ開會スルコトヲ得議事ハ出席理事ノ過

半數ヲ以テ之ガ可否ヲ決定シ同數ノトキハ主席ニ於テ決定ス

第十七條 監査役會ノ職權左ノ如シ

一 全行ノ帳簿ヲ檢分ス

二 預算、決算ヲ審査ス

第十八條 監査役會ハ少クモ二月ニ一回開催シ常駐監査役之ヲ召集ス

第十九條 理事會、監査役會ノ議事ハ議事録ヲ作成シ主席署名ノ上之ヲ保存スルコトヲ要ス

第二十條 理事會、監査役會ノ議事規程ハ各該會ニ於テ別ニ之ヲ規定ス

第六章 決算

第二十一條 毎年六月ヲ半年決算期トシ十二月ヲ全年總決算期トス左記各種帳簿ヲ作成シ理事會、監査役會ニ提出査定後市政府ニ

報告シ更ニ財政部ニ移戻ス

一 財産目録

二 資産負債表

三 營業報告表

四 損益計算書

五 剩餘金分配表

第二十二條 本銀行ハ毎年純益金ノ百分ノ三十ヲ積立金トシ百分ノ四十ヲ市庫ニ納入シ其ノ餘ヲ職員ニ獎勵金、教養金、慰勞金トシテ各若干ヲ分配スベシ但シ理事會ニ於テ議定シ市長ニ報告シ之ヲ査定ス

第七章 附則

第二十三條 本章程ニ不備ノ點アラバ理事會ニ於テ修改ヲ決議シ市政府ニ報告シ更ニ財政部ニ移戻シ許可ヲ得ルヲ要ス

第二十四條 本章程ハ財政部ノ認可ノ日ヨリ施行ス

華中調查速報第二一〇號
昭和十六年七月

南京市政府公報抄（邦譯）

民國三十年四月三十日 第七十期

興亞院華中連絡部

發送先

本院
華北連絡部次長
蒙疆、厦門各連絡部長官
青島出張所長
漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
陸軍參謀次長
支那派遣軍總參謀長
登集園總參謀長
支那派遣軍司令部報道部長
支那派遣憲兵隊司令官
上海憲兵隊長
特務機關本部長
上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

漢口陸軍特務部長
支那方面艦隊參謀長
上海方面海軍根據地隊司令官
海軍上海駐在武官長
第一海軍經理部長
支那方面艦隊報道部長
漢口海軍特務部長
在南京大使館
在上海、南京、漢口、各總領事
杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
外務省大臣官房文書課
滿鐵上海事務所
東亞研究所
上海
東京
中華民國法制研究會

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を轉錄する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

一、南京特別市市金庫暫行規程	一
二、南京特別市政府財政局歲入歲出會計科目	六
三、南京特別市政府捕運魚花登記暫行辦法	一六
四、南京特別市政府宣傳處辦事細則	一九

南京特別市市金庫暫行規程

一 總 則

- 一 市金庫ハ市銀行之ヲ代理ス但シ該行ニ於テ之ヲ指揮スルヲ除クノ外市政府財政局ノ監督ヲ受クルモノトス
- 二 市金庫主要人員ノ進退ニ關シテハ市銀行董事會（理事會）ヨリ市長及財政局々長ノ同意ヲ求ムベシ
- 三 市金庫ノ金錢收支事務ノ處理ニ付テハ總テ本規則ニ依リ之ヲ處理スベシ但シ未ダ明文ノ定メナキトキハ財政局ノ金庫代理通例ヲ襲用スルコトヲ得
- 四 市金庫ノ貨幣收支ノ種類ハ國幣ヲ以テ本位トス但シ他種ノ貨幣ナル場合ハ收支ノトキニ各該貨幣ノ固定單位ヲ以テ單位ト爲ス
- 五 税金ノ收支ハ總テ主管財政局ニ報告スルコトヲ要シ金錢支拂ノ

六

トキハ總テ市政府ノ支拂命令及通知ニ依リ且金錢受領機關ノ提出シタル各項書類及證據書類ト對照ノ上之ヲ支拂スベシ但シ總テ作製スベキ各項書表ハ翌日ノ午前中ニ財政局ニ提出スベシ
他種貨幣ノ兌換ハ財政局ノ指示ニ基キ之ヲ處理スベシ

二 科 目

- 一 市金庫ノ會計科目ハ左ノ三種ニ分ツ
 - (一) 歳入ニ屬スル科目
 - (二) 歳出ニ屬スル科目
 - (三) 庫存（金庫保存）ニ屬スル科目
- 二 歳入ニ屬スル科目ハ別ニ之ヲ定ム
- 三 歳出ニ屬スル科目ハ別ニ之ヲ定ム
- 四 庫存ニ屬スル科目ハ左ノ一種トス
 - (一) 銀行ノ各種貨幣ノ預金及貸付ハ其ノ實際貨幣ノ名稱ニ依リ

之ヲ分類記載スベシ

三 傳 票

一 市金庫會計ノ記帳證據書類ハ左ノ各傳票ヲ用フ

(一) 金庫收入傳票

(二) 金庫支出傳票

(三) 振替傳票

四 帳 簿

一 市金庫會計科ハ左ノ各帳簿ヲ用フベシ

(一) 日記帳

(二) 總 帳

(三) 分類帳

(四) 明細帳

以上ノ各種帳簿ハ財政局ト同一ニ記載スルコトヲ要シ以テ聯絡

ヲ保チ検査ニ便ナラシムルモノトス

五 報 表 (報告表)

一 市金庫ハ前記ノ日記帳、總帳、分類帳ニ依ルヲ除クノ外更ニ左

ノ各表ヲ作製スベシ

(一) 收支日報表

(二) 日結表 (毎日結算表)

(三) 代管款項結存表 (金銭代埋保管残高表)

六 附 則

一 税金ヲ收受スルトキハ金庫收入ノ規定様式 (領收證、報告書ニ

枚綴)ニ依リ金庫ノ印ヲ押捺シテ各金銭納付機關ニ發送シ且金銭

納付書 (報告書一枚綴)ニ金庫ノ印ヲ押捺シテ財政局ニ報告スベ

シ

二 經費ヲ支拂フトキハ (支拂命令及支拂通知ト對照スベシ) 額面

三
 通りニ之ヲ支拂シタル後ハ金錢受領書ヲ保存スルヲ除クノ外其ノ
 金錢受領書（報告、審査ニ枚綴）ヲ支拂命令及支拂通知ト共ニ財
 政局ニ報告スベシ但シ「暫」及「抵」ノ字ノ支拂命令及支拂通知
 ニ對シテハ其ノ收支ヲ明カニ分類シテ表ト共ニ即日之ヲ添送スベ
 シ
 三 本規則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ財政局ヨリ市長ニ申請
 シテ之ヲ修正スルモノトス

南京特別市政府財政局歳入歳出會計科目

歳入類

經常部

一 地方收入

- 一 田賦稅（地租）
- 二 契稅（一般民間ノ不動産買賣、出典（抵當）、商租（租借）
 等ニ當リ其ノ賣契（賣買契約）、典契（抵當契約）、租契
 （租借契約）等ヲ地方ノ徵稅官署ニ提出セシメ徵稅帳簿ニ
 名義書換ヲ行フ際其ノ契約價格ニ應ジテ徵收スル一種ノ登
 録稅ナリ）即チ移轉登記稅
- 三 營業稅
- 四 屠殺稅

- 五 家畜税
 - 六 營業專税（專税ハ總テ之ヲ屬ス）
 - 七 箔類税
 - 八 牙帖税（仲買商ノ鑑札税）
 - 九 菸酒牌照税（酒、煙草ノ鑑札税）
 - 十 車捐（車税）（捐ハ税ノ一種）
 - 十一 舖房捐
 - 十二 娛樂捐
 - 十三 筵席捐
 - 十四 妓捐
 - 十五 旅館捐
- 二 地方財産收入
- 一 商場租金（百貨聚散市場ノ借賃）

- 二 市産租金（市財産ノ借賃）
 - 三 水道租金（水道ノ借賃）
 - 四 洲産租金（水中ニアル洲ニ於ケル出産物ノ販賣金）
 - 五 洲租（水中ニアル洲ノ借賃）
 - 六 湖産收入（湖ニ於ケル出産物收入）
 - 七 地租
 - 八 菜場租金（市場借賃）
 - 九 攤販租金（露店借賃）
- 三 地方事業收入
- 一 各診療所ノ診察料及藥費
- 四 地方行政收入
- 一 工商業登記費
 - 二 度量衡檢定費

五

- 三 廣告捐（廣告税）
- 四 船舶登記費
- 五 車輛登記鑑札費
- 六 測圖費（測量費）
- 七 營造業登記費（建築業登記費）
- 八 建築鑑札費
- 九 車輛番號札費
- 十 船舶番號札費
- 十一 財産權登記費
- 十二 書狀費
- 十三 各業衛生登記費
- 十四 醫師開業鑑札費

補助費

六

- 一 中央ヨリ補助シタル行政費
- 二 中央ヨリ補助シタル事業費
- 三 中央ヨリ補助シタル教育費

中央交付金

一 阿片税附加

二 阿片營業税及鑑札費

其ノ他ノ收入

七

- 一 租金徵收ノ代理管理
- 二 租金ノ代理、管理ノ手續費
- 三 化糞廠ノ管理費
- 四 舖房税並清潔税徵收
- 五 舖房税並消防税徵收
- 六 借款ノ設定

臨時部
 一 洲地ノ拂下開墾保證金
 二 市産收入ノ清算

歳出部
 經常部

一 本府經費
 二 護林會經費
 三 各區公所經費
 四 旗民救濟費
 五 地租徵收處經費
 六 營業稅處經費
 七 屠殺稅局經費

11

20

八 營業專稅局經費
 九 捐稅徵收所經費
 十 八卦洲整理處經費
 十一 露店管理所經費
 十二 園林管理處經費
 十三 日本居留民家屋租ノ代管經費
 十四 管理費
 十五 居留民國ノ租借事務代理取扱經費
 十六 日本居留民家屋租金部ノ家屋保險費
 十七 稅務隊費
 十八 教育經費
 十九 工事業業費（一切ノ經常建築費ハ總テ之ニ屬ス）
 二十 路工除工費

12

- 二十一 船舶登記所經費
- 二十二 工人、運轉手、夫役工費
- 二十三 下水道工隊工費
- 二十四 地政事業費
- 二十五 衛生事業費（防疫種痘、藥品、材料及各診療所、蔬菜消毒、癩病者看守等ノ費用之ニ屬ス）
- 二十六 各診療所經費
- 二十七 市場管理所經費
- 二十八 娼妓檢療所經費
- 二十九 埋葬隊工費
- 三十 化糞廠經費
- 三十一 衛生試驗所經費
- 三十二 傳染病院經費

- 三十三 救火會（消防組）補助費
- 三十四 市地方公會補助費
- 三十五 清潔隊補助費
- 三十六 豫備費
- 三十七 借款償還臨時部
- 一 本府行政臨時費
- 二 倉庫經費
- 三 臨時救濟費
- 四 財務臨時費
- 五 地租處臨時費
- 六 營業稅臨時費
- 七 營業專稅臨時費

- 八 捐稅所臨時費
- 九 洲地租借事務ノ清算臨時費
- 十 工事建設臨時費
- 十一 教育臨時費
- 十二 地政臨時費
- 十三 衛生臨時事業費
- 十四 傳染病院臨時費

修正南京特別市捕獲魚花登記暫行辦法

(中華民國三十年四月修正)

- 第一條 本市ハ魚業生産ノ發展、魚苗捕獲並ニ輸送ヲ保護スル目的ヲ以テ特ニ本辦法ヲ制定ス
- 第二條 市民ガ魚苗ヲ捕獲シテ城内外ノ池沼ニ輸送養殖セントスルトキハ申請書ヲ作成シ商店保證相添之ヲ南京市社會局(以下市社會局ト略稱ス)ニ登記ヲ申請スベシ
- 第三條 登記者ハ市社會局ノ許可ヲ經タル後ハ保證人ト共ニ局ニ出頭シテ旗幟及魚網、番號札ヲ受領スベシ
其ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四條 旗幟一本毎二十個ノ網ヲ設クルコトヲ得但シ申請者ハ申請書ニ之ヲ明記スルコトヲ要シ虛偽ノ申立ヲナシ隱匿スルコト

トアルヲ得ズ

- 第五條 旗幟及番號札ノ有効期間ハ毎年五月一日ヨリ六月三十日迄トシ期限滿了シタルトキハ之ヲ返納スベシ
- 第六條 魚網尺度ハ長サ六尺五寸、巾三尺ノ麻布網ト定メ捕獲場所ハ岸ヨリ二丈以内トシ時間ハ毎日午前五時ヨリ午後七時迄トシ之ヲ超ユルコトヲ得ズ
- 第七條 本項ノ業務ヲ經營スルモノニ非ザレバ登記ヲ申請スルコトヲ得ズ
- 第八條 魚苗ヲ捕獲輸送スルトキハ旗幟、網ヲ携帯スルコトヲ要シ上ニ番號札ヲ懸ゲ以テ検査ニ便ナラシムベシ
- 第九條 旗幟及番號札ノナキ魚網ニ對シ所在地ノ軍警ハ隨時之ヲ拘引シ且其ノ魚苗及網ヲ沒收スルコトヲ得
- 第十條 旗幟ハ一本ニ付二元四十錢魚網ハ每枚ニ付三十六錢ノ登

17

23

18

記費ヲ徵收ス但シ網數ニ依リ番號順ニ番號札ヲ下附スルモノトス又納付スベキ各費ハ認可ノ通知ヲ受ケ之ヲ登記スルトキニ納付スルモノトシ且領收證ヲ交付スベシ

第十一條 旗幟、番號札ヲ紛失シタルトキハ原申請者ハ隨時之ヲ報告シテ處理ヲ仰グベシ

但シ別段ノ弊害ナキトキハ本辦法各條ノ規定ニ依リ登記費ヲ納付シ再發行申請ヲ爲スコトヲ得

第十二條 本辦法各條ノ規定ニ違反シ又ハ違禁物品ヲ携帯シ若ハ其ノ他一切弊害アルトキハ網元又ハ雇傭工人タルヲ問ハズ總テ法ニ依リ之ヲ處罰シ且ツ保證人ハ連帶責任ヲ負フベシ

第十三條 本辦法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

南京特別市宣傳處辦事細則

- 一 本處ハ南京特別市政府ニ直屬シ市長ノ命ヲ承ケ宣傳部ニ直屬セザル全市ノ宣傳事項ヲ掌理ス
- 二 本處ハ市政府内ニ附設シ合同ノ事務處理制度ヲ實行ス
- 三 本處ハ一方宣傳部ノ指導監督ヲ受クルモノトス
- 四 本處ニ秘書一人ヲ置キ處長ノ命ヲ承ケ機密文書、電報ノ起草、審査及其ノ他特別指示ニ基ク處理スベキ事項ヲ處理ス
- 五 本處ハ總務、指導、事業ノ三科ヲ設ク但シ現在ハ先ニ指導、事業ノ二科ヲ設ケ總務事項ハ秘書之ヲ兼任ス
- 六 指導科ハ左ノ事項ヲ掌理ス
 - 一 宣傳計劃ノ制定ニ關スル事項
 - 二 所屬宣傳機關工作ノ指導及考查ニ關スル事項

- 三 新聞原稿ノ起草及發布ニ關スル事項
- 四 宣傳刊行物ノ指導及審査ニ關スル事項
- 五 宣傳資料ノ徵集ニ關スル事項
- 七 事業科ハ左ノ事項ヲ掌理ス
 - 一 宣傳事業、宣傳活動ノ規劃及進行ニ關スル事項
 - 二 新聞事業ノ聯絡及援助ニ關スル事項
 - 三 宣傳事業組織ノ調査ニ關スル事項
 - 四 新聞従業員及同業組合ノ調査ニ關スル事項
 - 五 宣傳刊行物ノ編輯ニ關スル事項
 - 六 映畫、放送及其ノ他藝術宣傳ノ計劃及進行ニ關スル事項
- 八 本處ニ科長二人ヲ置キ處長ノ命ヲ承ケ各該科ノ事項ヲ分掌ス
- 九 本處ニ科員六人乃至十人ヲ置キ科長ノ命ヲ承ケ該管事務ヲ處理ス

- 十 本處ハ事務上ノ必要ニ應ジ專員又ハ適宜雇員若干人ヲ置クコトヲ得
- 十一 本處ノ秘書、科長、專員、科員、雇員ハ總テ市長之ヲ任命シ又ハ適宜市政府各局處ノ職員ヲ轉任セシメテ之ヲ專任又ハ兼任セシムルモノトス
- 十二 處長ハ缺勤又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ職務ヲ執行シ能ハザルトキハ秘書之ヲ代行シ且市長ニ報告スベシ
- 十三 本處ハ宣傳部ニ對シ直接呈文ヲ用フル外對外文書ノトキハ總テ市長名義ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得但シ布告及命令ハ處長之ニ副署スルコトヲ得
- 十四 本處ハ例行公文ニ對シ事務ノ敏捷ヲ計ル目的ヲ以テ直接處ヨリ文書ヲ發送スルコトヲ得
- 十五 職員ハ本處ノ機密事務ニ對シ之ヲ言明又ハ漏洩スルコトヲ得ズ

- 十六 二科ニ亘ル事件ハ主管科ニ於テ關係科ト協義ノ上之ヲ處理シ之ガ意見一致セザルトキハ處長ニ提出シテ査定ヲ受クベシ
- 十七 本處ハ必要アルトキハ處長ニ於テ處務會議ヲ召集スルコトヲ得但シ科員以上ノ職員ヲ以テ之ヲ組織シ且處長ヲ主席トス其ノ會議規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 十八 各科毎月ノ工作ハ豫メ計劃ヲ作製シ處長ヲ經テ市長ニ移牒シ認可ヲ經タル上之ヲ施行スベシ
- 十九 各職員ハ毎日工作日報表ヲ作製シ處長ニ提出査定ヲ受クベシ
- 二十 各科ハ毎月末ニ工作月報ヲ一括ニ編輯シ處長ヲ經テ市長ニ移牒シ査定ヲ受クベシ
- 二十一 本處ハ宣傳事業ヲ普及スル目的ヲ以テ市長ニ申請シ各種委員會ヲ組織スルコトヲ得
- 其ノ組織ハ別ニ之ヲ定ム

二十二 本細則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之ヲ修
正スルコトヲ得
二十三 本細則ハ市長認可ノ日ヨリ之ヲ施行シ且宣傳部ニ報告記録セ
シムベシ

華中調査速報第二一一號
昭和十六年七月

農鏡公報抄（邦譯） 民國三十年六月十六日 第六十三號

農亞院華中連絡部

發送先

本院
 華北連絡部次長
 蒙疆、廈門各連絡部長官
 青島出張所長
 漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
 陸軍參謀次長
 支那派遣軍總參謀長
 登集團總參謀長
 支那派遣軍總司令部報道部長
 支那派遣憲兵隊司令官
 上海憲兵隊長
 特務機關本部長
 上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

漢口陸軍特務部長
 支那方面艦隊參謀長
 上海方面海軍根據地隊司令官
 海軍上海駐在武官長
 第一海軍經理部長
 支那方面艦隊報道部長
 漢口海軍特務部長
 在南京大使館
 在上海、南京、漢口、各總領事
 杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
 外務省大臣官房文書課
 滿鐵上海事務所
 東亞研究所
 上海
 東京
 中華民國法制研究會

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを掲載す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

農礦部中國合衆蠶桑改良會
整理委員會組織暫行章程

(中華民國三十年三月十九日部令公布)

- 第一條 農礦部ハ中國合衆蠶桑改良會ヲ整理スル目的ヲ以テ農礦部中國合衆蠶桑改良會整理委員會ヲ設立ス
- 第二條 本會ニ委員五人乃至九人ヲ置キ且一人ヲ指定シテ主任委員トシ農礦部長之ヲ任命又ハ聘任ス
- 第三條 本會ニ秘書一人ヲ置キ主任委員ノ指示ニ基ク事務ヲ處理シ且文書ノ審査及官印ヲ保管スルモノトス
- 第四條 本會ハ事務上ノ必要ニ因リ左ノ各組ヲ置クコトヲ得
 - 一 總務組
 - 二 技術組

30

1

三 調查組

第五條 上記ノ各組ニ各組長一人、組員二人乃至四人ヲ置ク

其ノ掌管事務左ノ如シ

一 總務組ノ掌管事項

- 一 文書ノ收發、分配、起案及保存ニ關スル事項
- 二 本會經費ノ豫算、決算及會計支拂ニ關スル事項
- 三 統計報告ノ編製ニ關スル事項
- 四 本會ノ庶務及其ノ他各組ニ屬セザル事項

二 技術組ノ掌管事項

- 一 本會技術ノ研究、設計及改良ニ關スル事項
- 二 本會ノ對外技術ノ聯絡合作ニ關スル事項
- 三 本會蠶桑事業ノ指導ニ關スル事項

三 調查組ノ掌管事項

2

- 一 本會ノ調査ニ關スル事項
- 二 本會ノ對外交渉ニ關スル事項
- 第六條 本會ハ事務上ノ必要ニ應ジ辦事員、書記、雇員若干人ヲ置キ協力シテ各項事務ヲ處理スルコトヲ得
- 第七條 本會ノ秘書及組長ハ總テ主任委員ヨリ農礦部長ニ申請シテ之ヲ任命シ辦事員、書記、雇員ハ主任委員之ヲ任命ス
- 第八條 本會ノ任務左ノ如シ
 - 一 本會財産ノ回收及整理ニ關スル事項
 - 二 中國合衆蠶桑改良會ノ過去及現在情況ノ調査
 - 三 中國合衆蠶桑改良會ト關係アル各種材料ノ徵集
 - 四 人事接渉及調整ニ關スル事項
 - 五 中國合衆蠶桑改良會ノ回收後ニ於ケル改良ニ關スル事項

- 第六條 中國合衆蠶桑改良會ガ將來中日技術合作條件ノ下ニ於テ如何ニ之ヲ改良スベキカニ關スル事項
- 第九條 本會ノ主任委員及委員ハ名譽職トス但シ主任委員ハ事實上ノ必要ニ應ジ毎月特別辦公費（手當、機密費）ヲ支給シ委員ハ適宜臨時辦公費ヲ支給スルコトヲ得
- 第十條 本會ハ農礦部認可ノ日ヨリ之ヲ設立ス但シ中國合衆蠶桑改良會ノ正式成立ノトキハ直ニ之ヲ解散スルモノトス
- 第十一條 本會ノ議決事項ハ主任委員ヨリ隨時農礦部ニ報告スベシ
- 第十二條 本會ハ會議規則及各組ノ辦事細則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十三條 本章程ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ委員會ヨリ農礦部ニ申請シテ之ヲ修正スルコトヲ得
- 第十四條 本章程ハ認可公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調査速報第二一二號
昭和十六年七月

國民政府公報抄（邦譯） 民國三十年六月二十三日 第一九一號

奧亞院華中連絡部



發送先

本院
 華北連絡部次長
 蒙疆、厦門各連絡部長官
 青島出張所長
 漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
 陸軍參謀次長
 支那派遣軍總參謀長
 登集國總參謀長
 支那派遣軍總司令部報道部長
 中支那派遣憲兵隊司令官
 上海憲兵隊長
 特務機關本部長
 上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

漢口陸軍特務部長
 支那方面艦隊參謀長
 上海方面派軍根據地隊司令官
 海軍上海駐在武官長
 第一海軍經理部長
 支那方面艦隊報道部長
 漢口海軍特務部長
 在南京大使館
 在上海、南京、漢口、各總領事
 杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
 外務省大臣官房文書課
 滿鐵上海事務所
 東亞研究所
 上海
 東京
 中華民國法制研究會

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

- 一、軍用技術人員任用暫行條例……………頁
- 二、中央衛生委員會組織條例……………一

軍用技術人員任用暫行條例

(中華民國三十年七月一日施行)

第一條 軍用技術人員ノ任用ハ法律ニ別段ノ規定アルヲ除クノ外本條例ヲ適用スルモノトス

第二條 軍用技術人員ノ掌管業務左ノ如シ

- 一 兵器、彈藥、艦艇、航空機械、車輛及軍用糧秣、被服、裝具竝ニ其ノ他軍用機械、器材ノ研究、設計、製造、修理、検査等ノ業務
- 二 馬種及其ノ他軍用獸類ノ改良及蕃殖等ノ業務
- 三 土木建築、電氣機械等ノ工事業務
- 四 物理化學上ノ研究試驗、製作及兵器彈藥ノ保管等ノ業務

1

36

第三條

- 五 氣象測候業務
 - 六 軍用工場ノ設計及管理等ノ業務
 - 七 其ノ他軍用ニ必要ナルモノト認ムル特種技術業務
 - 八 右ノ各項ニ關スル教授及編纂、翻譯業務
- 軍用技術人員ト文職トノ等級比較左ノ如シ
- 一 中將技監ハ簡任職トシ二級乃至一級、少將技監及技正ハ簡任職トシ五級乃至三級、大佐技正ハ簡任職トシ八級乃至六級
 - 二 中佐技正及技士ハ薦任職トシ六級乃至一級、少佐技正ハ薦任職トシ十二級乃至七級
 - 三 大尉技佐及技士ハ委任職トシ四級乃至一級、中尉技佐ハ委任職トシ八級乃至五級、少尉技副ハ委任職トシ十二級乃至九級

2

第四

准尉技副ハ委任職トシ十六級乃至十三級
簡任職軍用技術人員ハ左記各項資格ノ一ヲ有スル者ニ就
キ之ヲ任用スベシ

一 現任又ハ曾テ簡任職技術人員ニ任ゼラレ審査ヲ經テ合
格シタル者

二 現任又ハ曾テ最高級薦任職技術人員ニ任ゼラレ審査ヲ
經テ合格シタル者

三 國內外大學又ハ獨立學院ヲ卒業シ且技術業務ニ五年以
上從事シ軍事技術上特殊ノ著作及經驗又ハ發明アリテ
審査ヲ經テ合格シタル者

第五

薦任職軍用技術人員ハ左記各項資格ノ一ヲ有スル者ニ就
キ之ヲ任用スベシ

一 現任又ハ曾テ薦任職技術人員ニ任ゼラレ審査ヲ經テ合

格シタル者

二 現任又ハ曾テ最高級委任技術人員ニ四年以上任ゼラレ
且高等教育ヲ受ケ審査ヲ經テ合格シタル者

三 専門以上ノ學校ヲ卒業シ且國內外ノ技術業務ニ三年以
上從事シ又設計製造ヲ能クシ確ニ成績アリテ審査ヲ經
テ合格シタル者

第六

委任職軍用技術人員ハ左記各項資格ノ一ヲ有スル者ニ就
キ之ヲ任用スベシ

一 現任又ハ曾テ委任職技術人員ニ任ゼラレ審査ヲ經テ合
格シタル者

二 専門以上ノ學校ヲ卒業シ試験ニ合格シタル者

三 前項ニ相當スル學校ヲ卒業シ試験ニ合格シタル者

第七

條 准尉ノ技術人員ハ職業學校ヲ卒業シ又ハ軍用工場職工ニ

第八條 三年以上任ゼラレ確ニ成績アリテ試験ニ合格シタル者
條 軍用技術人員ノ擔任職務ハ必ラズ其ノ學ビタル科系(科目系統)ニ相當スルコトヲ要ス

其ノ科目左ノ如シ

- 一 大學又ハ獨立學院ニ屬スルトキハ物理學、化學、數學、土木工事、機械工事、電氣工事、化學工事、造船學、建築學、冶金學、牧畜學、商工管理學等
- 二 專門學校ニ屬スルトキハ鑛冶(鑛山及鑛金屬)專門科、機械工事專門科、電氣工事專門科、化學工事專門科、土木工事專門科、海、河工事專門科、建築專門科、紡織染色專門科、製菓專門科、造船專門科、飛行機製造專門科、牧畜專門科等
- 三 其ノ他國內外大學又ハ專門學校ニ於テ學習シタル科目

第九條 ニシテ本條例第二條ニ定メタルモノ
條 軍用技術人員ハ國民政府ヨリ之ヲ任命シ又ハ最高軍事機關ヨリ之ヲ任命シタル後ハ將校ノ已ニ官位アル者ノ之ヲ登記セザルヲ除ク外總テ最高軍事機關ニ於テ該員ノ履歴ヲ一括ニ銓叙部ニ提出シ級ニ依リ之ヲ登記スルモノトス

第十條 左記各項事情ノ一ニ該當スルトキハ軍用技術人員ニ任用スルコトヲ得ズ

- 一 公權剝奪者
- 二 公金費給者
- 三 曾テ收賄ニ因リ處罰ヲ受ケタル者
- 四 阿片又ハ其ノ類似品ヲ吸飲スル者
- 五 身體衰弱又ハ持病アリテ職務ニ堪エザル者

第十一條 簡任、薦任、委任軍用技術人員ノ初任ハ最低級ヨリ之ヲ

任用スベシ但シ特殊學識及經驗ヲ具有スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

軍用技術人員初任ノトキハ豫メ三月乃至六月署任（代理、見習）セシムルコトヲ得之ガ期限満了シ任ニ堪エ得ル者ハ更ニ實職ニ任命スルモノトス

第十二條 軍用技術人員ノ進級ハ左ノ規定ニ依ル

一 進級ハ逐級遞進スルコトヲ要シ一時ニ二級以上進級スルコトヲ得ズ

二 進級ハ己ニ停年ニ滿シ且成績優良ニシテ上級ニ缺員アルトキニ限ル其ノ停年期左ノ如シ

少 將	三年
大 佐	四年
中 佐	三年

少 佐	三年
大 尉	四年
中 尉	二年
少 尉	二年
准 尉	二年

第十三條 軍用技術人員ノ進級選抜ハ委任職ハ所屬ノ單位ヲ以テ範圍トシ薦任職以上ハ所屬ノ最高主管機關ニ於テ其ノ職務ニ依リ適宜之ヲ配置スルコトヲ得

第十四條 軍用技術人員ノ退職ハ左ノ規定ニ依ル

- 一 志願退職
 - 本人自ラ辭職ヲ願ヒ出テ許可ヲ經タル者
- 二 裁減退職（人事淘汰ニ因ル退職）
 - 組織又ハ編制變更ニ因ル人員減少

三 傷病退職

傷病、廢疾、衰弱ニシテ勤務ニ堪エザル者

四 考績退職（成績考査ニ因ル退職）

成績考査三ヶ年連續ニ合格セザル者

第十五條 軍用技術人員ノ俸給ハ陸軍將校ノ俸給定額ニ依ルヲ除ク

ノ外且適宜ニ技術ノ加俸ヲ給與ス

第十六條 軍用技術人員ノ退職ニ付左記各項ノ一ニ該當スルトキハ

終身贍養金（扶養料）ヲ給與ス

其ノ金額ハ將校ト同シ

一 年齢滿五十五歳ニシテ實職ニ滿十五年以上勤務シタル

者

二 在職中公務ニ因リ不具トナリタル者

第十七條 扶養料ヲ受領スル期間内ニ於テ左記事情ノ一ニ該當スル

トキハ扶養料ノ支給ヲ取消又ハ停止ス

一 刑事處分ノ罪ヲ犯シタル者ハ撤廢

二 中華民國々籍ヲ喪失シタル者撤廢

三 再奉職シタル者ハ停止ス

第十八條 將校ニシテ第四條、第五條、第六條ノ資格ヲ具有シ之ガ

軍用技術人員ニ任ゼラレタル者ハ仍其ノ原有身分ヲ保留スル

モノトス但シ軍職ノ年數ニ算入セズ

前項人員ハ動員ノトキハ其ノ職務ノ輕重ニ應ジ適宜之ヲ召集

セザルコトヲ得

第十九條 本條例ノ施行期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

中央衛生委員會組織條例

(中華民國三十年六月十七日修正公布)

- 第一條 國民政府內政部ハ全國ノ衛生施設ヲ協議研究スル目的ヲ以テ組織法第五條ニ依リ中央衛生委員會ヲ設立ス
- 第二條 本會委員ハ十一人乃至十七人トス第一回委員ハ內政部々長ニ於テ衛生學識經驗ニ富ム者ヲ選拔シテ之ニ充ツ內政部長次長、衛生司長ハ當然委員トス
- 第三條 本會ハ前條ニ定メタル委員ノ外每期開會スルトキハ專家及各部會ニ關係アル高級公務員ヲ招聘シ臨時委員トシテ會議ニ列席セシムルコトヲ得
- 第四條 本會委員ハ總テ名譽職トス
- 第五條 本會ニ於テ招聘任命シタル委員ノ任期ハ二年トス但シ期

- 第六條 限滿了シタルトキハ引續キ之ヲ招聘スルコトヲ得
- 第六條 本會ハ毎年一回開會シ內政部々長之ヲ召集ス但シ必要アルトキハ臨時會議ヲ召集スルコトヲ得
- 第七條 本會ノ會議ハ內政部々長ヲ主席トス但部長ガ事故ニ因リ出席シ能ハザルトキハ委員一人ヲ指定シテ之ヲ代理セシムルコトヲ得
- 第七條 議決事項ハ會ヨリ內政部ニ送り認可ノ上之ヲ施行シ且次回ノ會議ニ施行ノ實況ヲ報告スベシ
- 第八條 本會ニ秘書一人、事務主任一人、事務員二人乃至四人ヲ置キ記録、編輯及文書ノ收發、淨書、照合竝ニ其ノ他一切事務ヲ分掌ス
- 第八條 前項ノ各職員ハ總テ名譽職トシ內政部々長ニ於テ部員ヲ選抜派遣シテ之ヲ兼任セシム

第九條 本會ノ議事細則ハ別ニ之ヲ定ム
第十條 本條例ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ申請シテ之ヲ修
正スルコトヲ得
第十一條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調查速報第二一五號

昭和十六年七月

國民政府公報抄（邦譯） 民國三十年六月二十日 第一九〇號

興亞院華中連絡部

發送先

本院

- 華北連絡部次長
- 蒙疆、廈門各連絡部長官
- 青島出張所長
- 漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
- 陸軍參謀次長
- 支那派遣軍總參謀長
- 登集團總參謀長
- 支那派遣軍總司令部報道部長
- 中支那派遣憲兵隊司令官
- 上海憲兵隊長
- 特務機關本部長
- 上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長
- 漢口陸軍特務部長

- 支那方面艦隊參謀長
- 上海方面海軍根據地隊司令官
- 海軍上海駐在武官長
- 第一海軍經理部長
- 支那方面艦隊報道部長
- 漢口海軍特務部長
- 在南京大使館
- 在上海、南京、漢口、各總領事
- 杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
- 外務省大臣官房文書課
- 滿鐵上海事務所
- 東亞研究所 上海
- 東京
- 中華民國法制研究會

凡 例

- 一、本輯の名稱を華中調査速報とす
- 二、調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 三、調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を轉載する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 四、調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 五、調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

一、陸海空軍軍籍條例	1
二、清鄉督察專員公署組織暫行規程	11
三、清鄉委員會各種委員會暫行組織通則	18
四、國民政府清鄉委員會參謀團組織規程	20

陸海空軍々籍條例

(中華民國三十年六月十六日修正公布)

第一條

陸海空軍々人ハ服役期間中ニ在リテハ總テ軍籍ニ登記ス
軍籍ハ軍人ノ身分ニ依リ左ノ五種ニ分ツ

一 官籍 任官セラレタル將校之ニ屬ス

二 准尉籍 任用セラレタル各兵科ノ准尉之ニ屬ス

三 准佐籍 任命セラレタル各業科ノ准佐(將校相當官)
之ニ屬ス

四 軍士籍 各兵科及各業科ノ軍士(下士官)之ニ屬ス

五 兵籍 兵卒之ニ屬ス

軍法官、軍用文官及其ノ他將校ト同等ノ技術人員並ニ聘任、
雇傭シタル人員等ノ任命ヲ行ハザル者ハ夫々之ヲ登録シ軍士

1

第二條

官籍ハ陸海空軍ニ分チテ之ヲ編製シ左ノ如ク總籍及分籍
ノ二種ニ分ツ

一 將校總籍 現役、後備役ニ分チ各種官位ノ將校ノ姓名
ヲ順次ニ列記シ官科、官階及其ノ隸屬ヲ記
載ス

二 將校分籍 官籍ノ分部ト爲シ隸屬及管區ニ分チ總籍中
ニ列記シタル將校ニ就キ之ヲ記載ス

(曹長、軍曹、伍長)ト同級ノ雇員及兵卒ト同級ノ各項夫役
ハ夫々名簿ニ記入シ總テ軍籍ニ登記セズ

以上ノ各項帳簿ハ夫々規則ヲ以テ之ヲ定ム

本條例ニ規定シタル軍籍ノ一般事項及各種軍籍ノ概則並ニ各
種軍籍ノ様式又ハ其ノ他詳細ナル事項ハ夫々規則ヲ以テ之ヲ
定ム

條 官籍ハ陸海空軍ニ分チテ之ヲ編製シ左ノ如ク總籍及分籍
ノ二種ニ分ツ

一 將校總籍 現役、後備役ニ分チ各種官位ノ將校ノ姓名
ヲ順次ニ列記シ官科、官階及其ノ隸屬ヲ記
載ス

二 將校分籍 官籍ノ分部ト爲シ隸屬及管區ニ分チ總籍中
ニ列記シタル將校ニ就キ之ヲ記載ス

將校ハ軍籍登記ノ事項ヲ除ク外其ノ他ノ事項ハ總テ履歷簿ニ
詳細記載ス

履歷規則ハ別ニ之ヲ定ム

將校ノ入籍、轉籍、除籍ハ總籍ヲ以テ標準ト爲ス

第三條 准尉籍及准佐籍ハ將校官籍ニ依リ之ヲ編製ス

第四條 軍士現役、正役、續役ヲ以テ夫々籍ヲ登記ス

現役軍士籍ハ師團、獨立旅團及其ノ他ノ獨立部隊ヲ以テ單位

トシ夫々兵科、業科ニ分チテ之ヲ編製ス

其ノ單位ノ比較的小サキモノ又ハ一單位ノ同科ニシテ軍士人

數ノ比較的少ナキトキハ若干部隊ヲ合併シテ正役及續役ニ編

籍ス

軍士籍ハ省又ハ其ノ他ノ管區ヲ以テ單位トシテ之ヲ編製ス

本條第一項中ニ稱スル部隊單位ガ陸軍ノ定メナル場合ハ海軍

空軍ハ此ノ編制ニ倣ヒテ之ヲ定ム以下各條皆同ジ

第五條 兵籍ガ現役ニ屬スルトキハ團（聯隊）又ハ獨立營（大隊）

ヲ單位トシテ之ヲ編制ス團又ハ獨立營以外ノ獨立連（中隊）、

排（小隊）ニシテ其ノ兵籍ガ所屬司令部ノ正役及續役ノ兵卒

ナルトキハ管區又ハ縣市ヲ以テ之ヲ編籍ス

第六條 軍籍内ノ入籍、轉籍及除籍左ノ如シ

一 入籍

一 將校ノ初任又ハ叙任ノトキ

二 准尉、准佐（相當官）ニ任ゼラレタルトキ

三 軍士

四 兵卒ノ入伍シタルトキ

二 轉籍

一 軍人ガ任官條例ニ依リ轉任セラレタルトキ

二 服役ニ依リ軍籍ヲ分チタルモノ及退役、轉役ノ
トキ
三 部隊又ハ地方ニ依リ軍籍ヲ分チタルトキノ隸屬
又ハ原籍ヲ變更シタルトキ

三 除 籍

軍人が服役法規ノ定メニ依リ除役シタルトキ又ハ其ノ
他軍籍ヲ除クベキ事項アルトキハ總テ軍籍ヲ除クベシ
第七 條 軍人が軍籍ニ入ルトキハ其ノ姓名ヲ定ムベシ入籍後ニ於
テ本條例第八條規定ノ原因ヲ發見シタルトキハ軍籍主管機關
ヨリ第九條規定ニ依リ改名スルヲ除ク外其ノ他ハ如何ナル原
因タルヲ問ハズ總テ姓名ヲ變更スルコトヲ得ズ
第八 條 軍人同姓ナルトキハ軍籍中ニ於テ同名タルコトヲ得ズ其
ノ範圍左ノ如シ

一 將校及准尉、准佐 陸海空軍人中ニ同姓アルトキハ同
名ヲ避ク

二 軍 士 同師團又ハ獨立旅及其ノ他同籍ニ在ル同姓ノ
者ハ同名ヲ避ケ且師團將校及准尉、准佐トノ
同名ヲ避クベシ

三 兵 卒 同姓ニ對スル同名廻避左ノ如シ

一 部隊廻避 同團又ハ獨立營（大隊）、連（中隊）

排（小隊）内ノ兵卒ハ之ヲ避ク

二 郷籍廻避 同縣市内ノ軍士兵卒ハ之ヲ避ク

三 對上廻避 本師團又ハ獨立旅團ノ將校、准尉、
准佐及本團又ハ獨立營、連、排ノ軍
士ハ總テ之ヲ避クベシ

第九 條 軍人ノ入籍ニシテ第八條規定ノ範圍ニ於テ同姓同名ナル

トキハ軍籍主管機關ハ之ヲ改名ス
其ノ規定左ノ如シ

- 一 入籍ニ前後アル場合先入籍者ハ改名ヲセズ官職ノ高低ヲ問ハズ總テ後入籍者ヲ以テ改名スルモノトス
- 二 同時入籍ノトキハ官職ノ低キ者ヲ以テ改名シ官職相同シキトキハ年幼者（同年ナルトキハ月日ニ依ル）ヲ以テ改名ス
- 三 轉籍ノトキ及入籍後同姓者ノ同名ヲ發見シタルトキハ總テ前記一、二項ヲ適用ス
- 四 士兵ノ改名ニ付原名ガ一字ノトキハ上又ハ下ニ字ヲ加ヘテ二字ノ名トシ原名ガ二字ノトキハ上又ハ下ノ字ヲ除キテ一字ノ名トス
但シ其ノ上下ノ字ヲ除キタルモ字義ガ名ニ成シ能ハザ

ルトキ又ハ別ニ同一軍籍ニアル者ガ同名ナルトキハ則チ其ノ字ヲ換フ

- 五 將校及准尉、准佐ノ改名ハ其ノ別號ヲ採用シ別號ナキモノ又ハ別號アルモ官職ニ在ル者ト同名ノトキハ前項ノ士兵ニ對スル改名ノ定メヲ適用ス

- 六 軍人ノ改名ハ總テ本人ノ申請ヲ受ケズニ軍籍主管機關ニ於テ之ヲ行フ
將校候補生養成ノ學校ハ入學シタル學生ノ改名ニ對シ陸海空軍各官籍及准尉籍、准佐籍ニ同姓同名ノ有無ヲ檢査スルコトヲ要シ若シ同名アルトキハ前項規定ニ依リ之ヲ改名スベシ
軍籍主管機關又ハ學校ハ軍人ノ改名後ハ其ノ戶籍ノ所屬縣市ニ之ヲ通知スベシ

第十條 軍籍中ノ姓名ヲ以テ順序トスルトキノ姓名排列辦法ハ別ニ之ヲ定ム軍籍中ノ資格ヲ以テ順序トスルトキノ資格ノ前後ハ資格規則ノ所定ニ依ル

第十一條 軍人入籍ノトキハ其ノ年齢及出生年月日ヲ確定ス籍ヲ登録シタル後ハ如何ナル原因ヲ問ハズ之ヲ更改スルコトヲ得ズ

第十二條 軍籍ニ記載スル軍人ノ原籍ハ現籍ヲ以テ標準トス(原籍ニ疑義アルトキハ戸籍法規ノ規定ニ依リ之ヲ解釋ス)

退役後軍籍ニ記載シタル現籍以外ノ寄留事項ガ召集ト關係アルトキハ將校及准尉、准佐ニ在リテハ履歷簿ニ詳記シ士兵ニ在リテハ動員名簿ニ詳記ス

第十三條 軍籍ノ編製及發行ヲ主管スル機關ハ軍籍主管機關トス各種軍籍ノ主管機關左ノ如シ
一 官籍及准尉籍、准佐籍

陸軍 軍政部軍衛司之ヲ主管ス
海軍 海軍部軍衛司之ヲ主管ス
空軍 航空署人専科之ヲ主管ス
二 軍士籍
現役ノトキハ師團又ハ獨立旅團司令部(副官處之ヲ主管ス)及其ノ他ノ獨立部隊ニ於テ之ヲ主管ス但シ退役後ハ定メタル地方機關ニ於テ之ヲ主管ス

三 兵籍
現役ノトキハ團又ハ獨立營本部ニ於テ之ヲ主管ス但シ退役後ハ定メタル地方機關ニ於テ之ヲ主管ス
軍政部、海軍部、航空署ハ軍籍事務ニ關シテハ相互ニ各地方機關ト聯絡スルコトヲ要シ軍士籍及兵籍ヲ主管スルトキハ關係アル現役ノ軍士籍及兵籍ノ主管機關ト聯絡スベシ

各軍籍主管機關ノ編製シタル軍籍ハ上級機關ニ提出シテ審査
記録セシムベシ

第十四條 軍籍主管機關ヲ除ク外ノ軍事機關部隊學校及民政司法各
機關ハ軍籍ノ全部又ハ一部ヲ保存シテ軍籍存用機關ト爲ス
軍籍ノ發行及存用機關又ハ保存年限等ハ總テ各種軍籍規則ニ
夫々之ヲ定ム

第十五條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

清鄉督察專員公署組織暫行規程

(國民政府三十年六月十三日第二百二十六號)
指令「准予備案」

- 第一條 清鄉委員會ハ清鄉區内ノ政務執行及保安隊、警察ヲ統率
指揮スル爲清鄉委員會臨時組織大綱第五條ノ規定ニ依リ清鄉
督察專員公署ヲ設置スルコトヲ得
- 第二條 清鄉督察專員公署ハ清鄉委員會ニ直屬シ清鄉委員會ノ命
ヲ承ケ省政府指導ノ下ニ管轄區内各縣各特別區ノ行政及清鄉
事項ヲ處理ス
前項清鄉區域ノ分割及清鄉督察專員公署ノ所在地ハ別ニ命令
ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三條 清鄉督察專員公署ニ專員一人ヲ置キ管轄區内一切ノ清鄉
事項ヲ綜理シ清鄉委員會ヨリ國民政府ニ申請シテ之ヲ任命ス

第四條 清郷督察專員公署ニ左ノ各科ヲ置ク

- 一 第一科ハ總務事項ヲ掌理ス
- 二 第二科ハ政務事項ヲ掌理ス
- 三 第三科ハ軍警事項ヲ掌理ス
- 四 第四科ハ財務事項ヲ掌理ス
- 五 第五科ハ社會ノ福利事項ヲ掌理ス

第五條 清郷督察專員公署ニ秘書一人、科長四人ヲ置キ薦任トシ
 清郷督察專員公署ヨリ清郷委員會ヲ經由國民政府ニ申請シテ
 之ヲ任命シ長官ノ命ヲ承ケ各該主管事務ヲ分掌ス
 視察二人乃至四人、科員、事務員各若干人ハ清郷督察專員公
 署之ヲ任命シ長官ノ命ヲ承ケ各項事務ヲ處理ス總テ清郷委員
 會及省政府ニ報告記録セシムルコトヲ要シ又必要アルトキハ
 且適宜雇員ヲ置クコトヲ得

第六條 清郷督察專員公署ハ諮議若干人ヲ聘任シ清郷督察專員ノ
 命ヲ承ケ指示ニ基ク事項ヲ處理スルコトヲ得

第七條 清郷督察專員ハ清郷委員會ニ於テ省政府ニ命ジ駐在地ノ
 縣長ヲ兼任セシムルコトヲ得清郷督察專員公署ノ職員ハ且夫
 夫該縣政府ノ職務ヲ兼任スルコトヲ得但シ別ニ俸給ヲ支給セ
 ズ

第八條 清郷督察專員ハ管轄區内各縣長及各特區公署長又ハ所屬
 ノ職員兵士ニ對シ隨時之ヲ指揮監督竝ニ成績考査ノ權ヲ有ス
 成績考査辦法ハ三月毎ニ一回舉行シ六月毎ニ一回總調查シ事
 實ヲ列記シテ清郷委員會及省政府ニ報告シ夫々之ヲ賞罰スベ

シ但シ演職行爲アルトキハ隨時ニ清郷委員會及省政府ニ秘密ニ報告シテ之ヲ懲罰又ハ緊急處分ノ必要アルトキハ先ニ人員ヲ派遣シテ代理セシムルコトヲ得

第九條

清郷督察專員管轄區内各縣長及各特別區公署長ノ命令又ハ處分ニ對シ違法又ハ妥當ヲ缺クモノト認メタルトキハ之ヲ停止又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得
前項ノ情况ハ隨時清郷委員會及省政府ニ報告シテ査定ヲ受クベシ

第十條

清郷督察專員ハ清郷事項ニ對シ管轄内各縣及各特別區ガ共力合作スル必要アリト認メタルトキハ隨時各關係アル縣區ニ命ジテ聯合處理セシムルコトヲ得

第十一條

清郷督察專員ハ三月毎ニ預番ニ管轄區、各縣、各特別區ニ赴キテ巡視スルコトヲ要シ且其ノ巡視情况ヲ清郷委員會及

省政府ニ報告記録セシムベシ

巡視手續及方法ハ別ニ之ヲ定ム其ノ巡視旅費ノ支給ハ國內ノ出張旅費規定ニ依ルコトヲ要シ地方ノ迎送及供給ヲ受クルコトヲ得ズ

第十二條

清郷督察專員ハ隨時管轄區域内ノ各縣長、各特別區公署長及其ノ所屬局長又ハ科長ヲ召集シテ清郷會議ヲ舉行シ區内一切ノ清郷ニ關スル事項ヲ報告及協議スルコトヲ得但シ必要アルトキハ地方團體ノ代表及名望アル紳士モ清郷督察專員ノ招請ヲ經テ之ニ列席スルコトヲ得

前項清郷會議ノ記録ハ清郷委員會及省政府ニ報告シテ査定ヲ受クベシ

第十三條

清郷督察專員公署ノ經費ハ豫算ヲ作製シ清郷委員會ニ申請シ支給ヲ爲サシムベシ

清郷督察專員ガ若駐在地ノ縣長ヲ兼任シタルトキハ兼ネテ該
縣政府ノ定額經費ヲ受領スルコトヲ得
第十四條 清郷督察專員公署ノ編制及系統ハ別ニ之ヲ定ム
第十五條 清郷督察專員公署ノ辦事細則ハ別ニ之ヲ定ム
第十六條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

清郷委員會各種委員會暫行組織通則

(國民政府三十年六月十三日第二百二十六號)
指令「准予備案」

- 第一條 清郷委員會ハ各項業務ノ推進ヲ設ル目的ヲ以テ清郷委員會臨時組織大綱第九條ノ規定ニ依リ各種委員會ヲ設立ス
- 第二條 各種委員會ハ清郷委員會委員長、副委員長ノ命ヲ承ケ及秘書長ノ指導ノ下ニ各該委員會ノ一切業務ヲ掌理ス
- 第三條 各種委員會ガ業務ヲ處理スルトキハ清郷委員會ノ主管處室ト協議シテ之ヲ處理スルコトヲ得
- 第四條 各種委員會ニ各主任委員一人、副主任委員一人又ハ二人委員若干人ヲ置ク其ノ人選ハ清郷委員會委員長ニ於テ之ヲ任命シ又ハ專門人員ヲ招聘シテ之ニ充ツ
- 第五條 各種委員會會議ハ各該主任委員ヲ主席ト爲シ主任委員缺

- 第六條 各種委員會ニ各秘書一人ヲ置キ各該主任委員ニ於テ清郷委員會委員長ニ申請シテ之ヲ任命ス
- 第七條 各種委員會ハ分組シテ事務ヲ處理スルコトヲ得各組ニ組長一人、幹事若干人ヲ置キ總テ各該主任委員ニ於テ清郷委員會委員長ニ申請シテ之ヲ任命シ且適宜雇員ヲ置クコトヲ得
- 第八條 各種委員會々議ハ每週一回舉行シ若必要アルトキハ各該主任委員ニ於テ臨時之ヲ召集スルコトヲ得
- 第九條 各種委員會ノ辦事細則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十條 本通則ハ許可ノ日ヨリ之ヲ施行ス

國民政府清郷委員會參謀團組織規程

(國民政府三十年六月十三日第二百二十六號)
指令「准予備案」

- 第一條 本會ハ派遣部隊ノ密切ナル清剿(剿滅掃蕩)ノ計劃指揮及友軍トノ連絡諸事項ヲ謀ル目的ヲ以テ本會臨時組織大綱第六條第二項ノ規定ニ依リ參謀團ヲ設立ス
- 第二條 本團ニ主任一人、參謀若干人ヲ置キ總テ委員長之ヲ任命ス
- 第三條 清剿實施ノトキ本團ハ連絡ヲ謀ル爲適宜參謀若干人ヲ派遣シテ各部隊ノ工作ニ參加セシメ且隨時計劃ニ貢獻シ各部ノ指揮官ヲ援助シテ清剿事項ヲ處理セシムルコトヲ得
- 第四條 本團ハ工作ノ必要ニ應ジ適宜雇員若干人ヲ用フルコトヲ得

- 第五條 本國ガ各部隊へ派遣シタル工作人員ハ隨時各部隊ノ清剿
情況及匪情ヲ主任ニ報告シ之ヲ移牒シテ考査スベシ
- 第六條 本國各級人員ノ升遷（榮轉）調補（轉任補用スル）事項
ハ總テ主任ヨリ委員長ニ申請シテ之ヲ決定ス
- 第七條 本國ノ經營費臨時費ハ本會ヨリ之ヲ支給ス
- 第八條 本條例ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之
ヲ修改スルコトヲ得

華中調查速報第二一六號
昭和十六年七月

國民政府公報抄（邦譯） 民國三十年六月二十五日 第一九二號

興亞院華中連絡部

58

發送先

本 部
華北運送部次長
蒙疆、夏門各運送部次官
青島出張所長
漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
陸軍參謀次長
支那派遣軍總參謀長
登集國總參謀長
支那派遣軍總司令部報道部長
中支那派遣憲兵隊司令官
上海憲兵隊長
特務機關本部長
上海、南京、蘇州、杭州、蕪湖、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長
漢口陸軍特務部長

支那方面總參謀長
上海方面海軍根據地司令部次官
海軍上海駐在武官長
第一海軍經理部長
支那方面艦隊報道部長
漢口海軍特務部長
在南京大使館
在上海、南京、漢口、各總領事
杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
外務省大臣官房文書課
滿鐵上海事務所
東亞研究所 上海
中華民國法制研究會

59

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるもののみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

- 一、陸軍師令部組織條例……………一 頁
- 二、軍事委員會各部隊駐京辦公機關名稱暨利用鈴記辦法……………六

陸軍師司令部組織條例

(中華民國三十年六月二十日公布)

- 第一條 陸軍師團ハ國民政府ニ直屬シ師團長一人ヲ置キ中央最高軍事長官ノ命ヲ承ケ所屬部隊ヲ統率シ師團司令部一切ノ事務ヲ綜理ス
- 陸軍師團ハ必要アルトキハ副師團長一人ヲ增置シ師團長ヲ輔佐シテ師團司令部一切ノ事務ヲ處理シ又師團長事故アルトキハ其ノ職權ヲ代行スルコトヲ得
- 第二條 師團長ハ所屬部隊ノ編成、訓練、經理、衛生及戰備等ノ事項ヲ掌管シ及部下ノ軍紀、風紀ノ監督竝ニ本師團ノ軍法審判事項ヲ管轄ス
- 第三條 師團長ノ職務執行ニ付軍政及人事々務ニ關シテハ軍政部

1

- 第四條 師團長ハ部隊ノ駐屯シタル區域内ニ於テ地方長官ヨリ治安ヲ維持センガ爲派兵ノ請求アリタルトキハ情勢ノ必要ニ應ジ直ニ其ノ要求ニ應ズルコトヲ得
- 但シ情勢緊急ニシテ地方長官ニ於テ請求スルニ及バザルトキハ師團長ハ直ニ兵ヲ派遣シテ治安ヲ維持シ且遲滯ナク該地方長官ニ通知スルコトヲ得
- 前二項ノ情況アリテ兵隊ヲ派遣シタルトキハ師團長ハ直ニ之ヲ夫々上級軍事長官ニ報告シ且近隣ニ於ケル其ノ他ノ部隊ニ通知スベシ
- 第五條 災害、疫病又ハ其ノ他ノ非常事故ニ依リ師團部ニ於テ暫

2

時其ノ所屬部隊ヲ移動スベキ必要アリ且急ヲ要スルモノト認
メタルトキハ實行後ニ於テ前條第三項ニ依リ之ヲ報告スルコ
トヲ得

第六條 師團部ハ隨時所屬部隊ヲ檢閲シテ一切ヲ整備シ且毎年ノ
軍隊教育期終了後其ノ檢閲實況ニ意見ヲ添ヘ夫々上級軍事長
官ニ報告スベシ

第七條 師團部ハ各兵科及各種業務ノ專門事項ニ對シ意見アルト
キハ隨時各兵監及主管官署長官ニ向ヒ之ヲ陳述スルコトヲ得

第八條 師團司令部ニ參謀長一人ヲ置キ師團長ヲ輔佐シテ機密事
項ニ參加計劃シ及部内一切ノ事務ヲ指導ス

第九條 師團司令部ニ左ノ各處ヲ置ク

- 一 參謀處
- 二 政訓處

3

三 副官處

四 軍械處

五 軍需處

六 軍醫處

七 軍法處

4

第十條 參謀處ハ動員、作戰、部隊ノ編制訓練、交通、通信及廉
報、調査等ノ事項ヲ掌理ス

第十一條 政訓處ハ武德促進ノ修養、三民主義立國方針ノ闡明及國
父(孫總理)大亞洲主義ノ遺教並ニ和平建國主旨ノ事項ヲ掌
理ス其ノ組織辦法ハ政治訓練部ヨリ制定シ軍事委員會ニ申請
シテ許可ノ上之ヲ施行ス

第十二條 副官處ハ內務、人事、通報、傳達、徵收募集、退任、召
集、徵發、文書保管、勤務分配及軍紀、風紀ノ維持等ノ事項

ヲ掌理ス
第十三條 軍械處ハ兵器、彈藥、機械材料ノ保管、出納及修繕等ノ
事項ヲ掌理ス

第十四條 軍需處ハ軍費會計ノ出納、被服糧秣及營繕等ノ事項ヲ掌
理ス

第十五條 軍醫處ハ軍醫、獸醫、衛生及防疫等ノ事項ヲ掌理ス

第十六條 軍法處ハ軍事司法事項ヲ掌理ス

第十七條 各處ニ處長一人ヲ置キ師團長ノ命ヲ承ケ參謀長指導ノ下
ニ各該處ノ專務ヲ掌理ス

第十八條 師團司令部ノ編制表ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條 師團司令部ノ服務規則ハ師團長之ヲ制定シ軍政部ニ提出
査定ヲ受ケタル後軍事委員會ニ移牒記録セシム

第二十條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍事委員會各部隊駐京辦公機關
名稱暨刊用銜記辦法

(民國三十年六月十八日國民政府第二百四十九號)
指令「陸軍部」

一 各部隊ガ本京(南京)ニ辦公(執務)機關ヲ設立セントスルト
キハ本辦法ノ規定ニ依ルベシ

二 軍以上ノ各部隊ハ駐京辦事處ヲ設立シ師團以下ノ各部隊ハ駐京
通訊處ヲ設立スルコトヲ得

軍部ニ附屬スル各師團、旅團ハ軍部辦事處ノ中ニ附隨シ別ニ通訊
處ヲ設立スルコトヲ得ズ軍部ガ本京ニ駐在スルトキハ別ニ辦事處
ヲ設クルコトヲ得ズ

三 各部隊ガ辦事處又ハ通訊處ノ設立ヲ報告スルトキハ其ノ實任者
ノ姓名、階級及處ノ場所並ニ組織人員數ヲ一括ニ報告記録セシム

ベシ

四

軍以上ノ設ケタル辦事處鈴記（官印）ハ即チ陸軍某集團軍總司令部駐京辦事處鈴記又ハ陸軍第某軍駐京辦事處鈴記トシ師團以下ノ設ケタル通訊處ノ鈴記（官印）ハ陸軍第某師駐京通訊處鈴記又ハ陸軍獨立歩兵第某旅駐京通訊處鈴記トス

五 六

獨立團ノ設ケタル通訊處ハ鈴記ヲ用フルコトヲ得ズ

軍以上ノ辦事處鈴記ハ木ヲ用ヒ周圍ハ別ニ錫ヲ以テ縁取り長サ九耗巾六、五耗トス師團以下ノ通訊處鈴記ハ木ヲ用ヒ師團部ノ設ケタル鈴記ハ長サ八耗巾五、八耗トス

七

旅團部ノ設ケナルトキハ長サ七耗巾五、五耗トス

各處ノ鈴記ハ直屬ノ最高長官ニ於テ之ヲ作製交付スルコトヲ得但シ其ノ使用期日及印影ヲ添ヘテ之ヲ報告スベシ

八

本辦法ハ發令後之ヲ施行ス

華中調查速報第二一七號
昭和十六年七月

內政公報抄（邦譯） 民國三十年五月份 第十四期

興亞院華中連絡部

發送先

本院
華北連絡部次長
蒙疆、廈門各連絡部長官
青島出張所長
漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
陸軍參謀次長
支那派遣軍總參謀長
登集團總參謀長
支那派遣軍總司令部報道部長
中支那派遣憲兵隊司令官
上海憲兵隊長
特務機關本部長
上海、南京、蘇州、杭州、奉縣、蚌埠、
安慶、蕪湖、特務機關長
漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長
上海方面海軍根據地隊司令官
海軍上海駐在武官長
第一海軍經理部長
支那方面艦隊報道部長
漢口海軍特務部長
在南京大使館
在上海、南京、漢口、各總領事
杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
外務省大臣官房文書課
滿鐵上海事務所
東亞研究所 上海
中華民國法制研究會 東京

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

内政部管理牙醫師鑲牙生暫行規則

(中華民國三十年五月三日部令公布)

第一章 總 綱

第一條 醫師法ノ頒布以前ニ於テハ齒科醫、鑲牙生(入齒師)ノ營業許可及取締ハ總テ本規則ノ規定ニ依ル

第二條 齒科醫又ハ入齒師ノ資格ヲ有スル者ガ内政部ノ審査又ハ試験ニ合格シタル場合ハ齒科醫證書又ハ入齒師證書ヲ下附ス但シ未ダ證書ヲ受領セザル者ハ齒科又ハ入齒ノ業務ヲ營ムコトヲ得ズ

内政部ハ齒科醫及入齒師ノ資格ヲ審査スル爲審査委員會ヲ組織スルコトヲ得其ノ章程ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 資 格

1

第三條

年齡二十五歲以上ニシテ左記各號資格ノ一アル者ハ齒科醫證書ノ下附ヲ申請スルコトヲ得

2

一 公立又ハ政府認可ノ公私立専科以上ノ學校ノ齒科ヲ卒業シ卒業證書ヲ有スル者

二 外國ノ公立又ハ政府認可ノ公私立専科以上ノ齒科ヲ卒業シ卒業證書ヲ有シ又ハ外國政府ノ齒科醫證書ヲ有スル者

三 外國人ニシテ上記ノ資格アリ各該國領事ノ證明ヲ有スル者

四 前衛生署ノ選拔ヲ經テ齒科醫證書ヲ有スル者

年齡二十五歲以上ニシテ左記各號資格ノ一アル者ハ内政部ノ試験ニ合格シタル者ニ限り入齒證書ノ下附ヲ申請スルコトヲ得

一 本規則ノ施行前曾テ入齒業務ニ五年以上從事シ地方政
府ノ開業許可證ヲ有スル者

二 曾テ部ヨリ證書ヲ受領シアル齒科醫ノ所ニ於テ三年以
上見習シ證書ヲ有スル者

第四條 左記各號事情ノ一アル者ハ前條ノ資格ヲ具有セルト雖モ
齒科醫又ハ入齒師證書ノ下附ヲ申請スルコトヲ得ズ

一 曾テ三年以上ノ有期懲役ニ處セラレタル者

二 禁治産者

三 心神喪失者

證書ノ下付ヲ受ケタル後前項各號ノ事情アリタルトキハ隨時
其ノ證書ヲ取消スベシ但シ前項第二、第三兩項ノ原因消滅シ
タルトキハ證書ヲ再下付スルコトヲ得

第三章 證書受領手續

第五條 齒科醫及入齒師證書ノ下付ヲ申請スルトキハ左ノ證明書
ヲ添ヘ所在地ノ該管官署ヲ經由内政部ニ提出シ審査合格後
ニ證書ヲ下付スベシ

一 證書費 齒科醫五元、入齒師三元

二 印紙稅 齒科醫二元、入齒師五十錢

三 半身像二寸ノ正面脱帽寫眞二葉

四 卒業證書

五 履歷書及其ノ他ノ資格證明文書前項ノ轉送手續ハ衛生
局ノ設アル地方ニ在リテハ衛生局ヨリ之ヲ轉送シ又衛
生局ノ設ナキ地方ニ在リテハ警察機關又ハ其ノ他ノ行
政官署ヨリ毎月取纏メテ内政部ニ報告スルコトヲ得

第六條 既ニ受領シタル證書ヲ破損紛失等ニ依リ再下付ヲ申請セ
シトスルトキハ新聞ニ廢棄ノ聲明ヲ爲シ且確實ナル證明文書

ヲ提出スルノ外證書費二元、印紙費ハ齒科醫二元、入齒師五十錢ヲ納付スベシ

第七條 本規則ノ施行前既ニ部發行ノ免許證ヲ所持シ且第三條所定ノ資格ト符合スル者ハ證書引換費二元、印紙費ハ齒科醫二元、入齒師五十錢ヲ納付シテ新證書ノ引換ヲ申請スルコトヲ得

但シ其ノ地方官署ニ於テノミ登録シ免許狀ヲ受領シタルモ未ダ部ノ免許證ヲ受領セザル者ハ更ニ本條例第五條ノ規定ニ依リ新證書ヲ受領スルコトヲ要ス

第八條 本規則ノ施行後現在開業ノ齒科醫、入齒師ニシテ部ノ證書ヲ所持セザル者ハ該管官署ニ於テ期限ヲ定メテ下付ノ申請ヲ命ズベシ

前項開業ノ齒科醫、入齒師ニシテ既ニ命令ニ從ヒ部證ノ下付

ヲ申請シタルモ未ダ下付ヲ受ケザルトキハ該管官署ハ事情ヲ酌量シテ臨時證書ヲ發行シ其ノ業務ノ暫時執行ヲ許可スルトヲ得

第四章 義務

第九條 齒科醫又ハ入齒師ガ某所ニ於テ開業セントスルトキハ該管官署ニ對シ部發行ノ證書ヲ呈示シ檢閲ヲ受ケ登録ヲ請求スベシ

第十條 齒科醫又ハ入齒師ノ開業、休業、復業又ハ移轉死亡等ノ事情ハ十日以内ニ本人又ハ其ノ關係人ヨリ該管官署ニ報告スベシ

第十一條 齒科醫ハ自ら診察スルニ非ザレバ治療ヲ施シ又ハ處方ヲ作製シ又ハ診斷書若ハ證明書類ヲ交付スルコトヲ得ズ

第十二條 入齒師ハ齒ノ疾病ニ對シ拔牙、入齒及普通治療ヲ除クノ

外顎骨ノ繼ギ當テ、齒列矯正、全身麻酔ヲ施シテ口腔ノ外科
大手術及×線治療等ヲ施シ又ハ技術上必要ニ非ザル藥品及内
服處方ヲ交付スルコトヲ得ズ

第十三條 齒科醫及入齒師ハ治療上ニ於ケル必要ノ外ハ麻酔及劇毒
藥品ヲ濫用スルコトヲ得ズ

第十四條 齒科醫ハ病人ガ處方ヲ要求シテ外部ニ對シ藥品ヲ購入ス
ベキ場合之ガ治療上ニ於テ妨害ノ虞ナキモノト認メタルトキ
ハ拒絕スルコトヲ得ズ

第十五條 齒科醫又ハ入齒師ガ業務ヲ執行スルトキハ治療簿ヲ備ヘ
患者ノ姓名、性別、年齢、職業、住所、病名、病歴及其ノ治
療方法等ノ事項ヲ記載スベシ

第十六條 齒科醫處方スル場合ハ左ノ事項ヲ明記スベシ
一 本人ノ姓名、住所、證書及登録番號並ニ署名又ハ捺印

二 患者ノ姓名、性別、年齢、藥名、藥量、用法及年月日

第十七條 齒科醫ガ藥劑ヲ交付スルトキハ容器又ハ包紙ニ患者ノ姓
名、該藥ノ用法及診療所ノ名稱所在地等ヲ詳細ニ明記スベシ

第十八條 齒科醫ガ患者ヲ診斷治療スル際ニ傳染病ヲ發見シタルト
キハ直ニ消毒處置ノ方法ヲ指示シ且該管官署ニ實狀ヲ報告ス
ベシ

第十九條 齒科醫又ハ入齒師ハ其ノ業務ニ對シ虛偽誇張ノ廣告ヲ登
載シ又ハ散布スルコトヲ得ズ

第二十條 齒科醫又ハ入齒師ハ必要アルトキハ該管法院、警察機關
及行政官署ノ委託ヲ受ケテ協助ノ義務ヲ負フベシ

第五章 懲 戒

第二十一條 齒科醫又ハ入齒師ガ業務上不正當行爲アリ又ハ精神上異
狀アルトキハ該管官署ヨリ暫時營業停止ヲ命ジ又齒科醫公會

ノ設ケアル地方ニ在リテハ其ノ審議ヲ經タル後暫時營業停止ヲ命ズベシ

第二十二條 本規則ノ施行後未ダ部發行ノ證書ヲ受領セズ又ハ證書ノ取消及營業停止ノ處分ヲ受ケタル者ハ總テ擅ニ業務ヲ執行スルコトヲ得ズ之ニ違反シタル者ハ三十元以上二百元以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 齒科醫又ハ入齒師ガ證書取消ノ處分ヲ受ケタルトキハ三日内ニ證書ヲ該管官署ニ返納スベシ但シ單ニ停業處分ノミヲ受ケタルトキハ證書ヲ該管官署ニ送付シ同署ニ於テ其ノ停業ノ理由及期限ヲ該證書ノ裏面ニ記載シタル後更ニ本人ニ交付シテ保管セシムベシ

第二十四條 齒科醫又ハ入齒師ガ本規則ノ規定ニ違反シタルトキハ既ニ制裁ノ定メアルヲ除クノ外該管官署ニ於テ三十元以下ノ罰

金ニ處スルコトヲ得
但シ業務ニ因リ刑法ニ違犯シタルトキハ法院ニ送致シテ處分
スベシ

附 則

第二十五條 本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調查速報第二一八號
昭和十六年七月

軍政公報抄（邦譯）

民國三十年二月一日

第十五號

興亞院華中連絡部

74

發送先

本院

華北連絡部次長

蒙疆、廈門各連絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集團總參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

中支那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、
安慶、寧波、特務機關長

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在南京大使館

在上海、南京、漢口、各總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

滿鐵上海事務所

東亞研究所 上海

中華民國法制研究會 東京

75

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

軍事委員會派駐各地軍事聯絡員
暫行辦法

(中華民國二十九年十二月三十日)
軍事委員會公布

- 一 本會ハ各地ノ駐軍情況ヲ明瞭ナラシメ及感情ノ聯絡ヲ謀ル目的ヲ以テ臨時人員ヲ各駐軍地ニ派遣シ該地ニ常時又ハ臨時駐在セシムルコトヲ得
- 二 軍事聯絡員ヲ任命スルトキハ本會辦公廳(事務室)ヨリ第一應ト協議ノ上臨時本會ノ參議、諮議(本會ノ諮問ニ應ジ是非利害ヲ議スルモノ)及軍官服務團々員中ノ有資格者ヲ選拔シ委員長ニ申請シテ之ヲ派遣スベシ
- 三 軍事聯絡員ノ定員及期限ハ臨時之ヲ規定ス
- 四 軍事聯絡員ノ任務ハ臨時之ヲ指示ス
- 五 軍事聯絡員ハ其ノ聯絡情況ヲ每旬又ハ臨時會ニ報告スルモノトシ必要アルトキハ委員長ニ移課シテ處理ヲ受クベシ
- 六 軍事聯絡員ノ往復旅費ハ陸軍旅費給與規則ニ依リ之ヲ支給スルヲ除クノ外各地ニ常駐スルモノハ每月會ヨリ適宜臨時辦公費(臨時經費)ヲ支給スルモノトシ駐軍ノ供給ヲ受クルコトヲ得ズ
- 七 軍事聯絡員ハ實際情況ヲ迅速確實ニ報告スルコトヲ要シ之ガニ虛偽報告ノ事情アルトキハ該員ニ於テ責ヲ負フベシ
- 八 本辦法ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ臨時申請シテ之ヲ修正スルコトヲ得
- 九 本辦法ハ認可公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調查速報第二一九號
昭和十六年七月

社會部公報抄（邦譯） 民國三十年六月一日 第十九號

興亞院華中連絡部

78

發送先

本院
華北連絡部次長
蒙疆、廈門各連絡部長官
青島出張所長
漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
陸軍參謀次長
支那派遣軍總參謀長
登集團總參謀長
支那派遣軍總司令部報道部長
中支那派遣憲兵隊司令官
上海憲兵隊長
特務機關本部長
上海、南京、蘇州、杭州、秦縣、蚌埠、
安慶、寧波、特務機關長
漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長
上海方面海軍根據地隊司令官
海軍上海駐在武官長
第一海軍經理部長
支那方面艦隊報道部長
漢口海軍特務部長
在南京大使館
在上海、南京、漢口、各總領事
杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
外務省大臣官房文書課
滿鐵上海事務所
東亞研究所 上海
東京
中華民國法制研究會

79

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又翻令以下は重要なるもののみを攝録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

國定記念日表 (中華民國三十年四月二十二日修正公布)

日期	記念日名稱	記念儀式	宣傳要點
一月一日	中華民國成立記念日	此ノ日ハ休暇トス全國一律ニ國旗ヲ掲揚シ五彩ノ巾ヲ懸ゲ提燈行列ヲ爲シテ之ヲ慶祝シ且該地政府ニ於テ各界ノ慶祝大會ヲ召集開會ス	一 奉天革命及辛夷前後ノ各地革命運動ノ經過及其ノ原因結果ヲ講演ス 二 臨時大總統ニ就任シタル孫總統ノ宣言中ノ重要意義ヲ講演ス 三 中華民族ノ復興意義ヲ講演ス 四 封建專制及民主政治トノ比較ヲ講演ス
三月十二日	總理逝世記念日	此ノ日ハ休暇トス全國一律ニ半旗ヲ掲揚シ娛樂、其會ヲ停止シテ哀悼ノ意ヲ表シ且該地政府ニ於テ各界ノ記念大會ヲ召集開會ス	一 總理ノ遺囑及自傳ヲ講演ス 二 國民黨ガ孫總理ノ遺囑ヲ接受シタル經過事實及第一期中央執行委員會第三次全體會議ノ發布シタル宣言訓令ヲ講演ス 三 總理逝去後ノ國民黨工作ノ概要及今後ノ努力ニ對スル講演

日期	記念日名稱	記念儀式	宣傳要點
三月二十九日	革命先烈記念日	此ノ日ハ休暇トス各該地政府ニ於テ記念大會ヲ召集開會シ總テ革命ノ爲ニ死亡シタル烈士(節義ノ士、義士)ヲ祭ル補充規定追加、此ノ日ハ雲南ノ義ヲ起シタル記念ノ例ニ倣ヒ國旗ヲ掲揚シテ之ヲ記念ス	一 各革命先烈ノ國ノ爲ニ犧牲トナリタル事蹟概略ヲ講演ス 二 各革命先烈ノ平生ノ言行ヲ講演ス 三 各革命先烈ノ特別精神顯揚
五月三十日	國府遷都記念日	此ノ日ハ休暇トセズ全國一律ニ國旗ヲ掲揚シ各機關、各團體、各學校ハ總テ夫々集會シテ之ヲ記念ス	一 中日事變ノ事蹟概略ヲ講演ス 二 東亞新秩序建設ノ日支共同負擔及遷都ノ意義ヲ説明ス 三 和平及反共建國使命ヲ講演ス
五月五日	革命政府記念日	此ノ日ハ休暇トセズ全國一律ニ國旗ヲ掲揚シテ之ヲ慶祝ス各機關、各團體、各學校ハ夫々集會シテ之ヲ記念ス	一 民國時代ノ軍閥及帝國主義ノ亂暴ナル情況ヲ講演ス 二 總理ノ總統ニ就任シタル原因及其ノ護法ノ精神ヲ説明ス 三 總理ガ國ノ爲民ノ爲ノ大無畏精神及今後ノ努力ニ對スル説明

表 日 念 記 定 國		
七月九日	國民革命軍 誓師記念日	此ノ日ハ休暇トセズ全國一律ニ國旗ヲ掲揚シテ之ヲ慶祝ス各機關、各團體、各學校ハ夫夫集會シテ之ヲ記念ス
八月二十七日	先師孔子誕辰(誕生日)記念日	此ノ日ハ休暇トス全國一律ニ國旗ヲ掲揚シテ之ヲ慶祝シ且各該地政府ニ於テ各界ノ記念大會ヲ召集開會ス
九月一日	和平反共建國運動諸先烈殉國記念日	此ノ日ハ休暇トス各該地政府ニ於テ記念大會ヲ召集開會シ和平運動ノ爲ニ死亡シタル烈士ヲ祭ル 補充規定追加、此ノ日ハ雲南、義ヲ起シタル記念ノ例ニ倣ヒ國旗ヲ掲揚シテ之ヲ記念ス
		<ul style="list-style-type: none"> 一 國民革命軍ノ成立シタル歴史及其ノ使命ヲ講演ス 二 國民革命軍ノ北伐經過及其ノ重要意義ヲ講演ス 三 國民黨ガ毎度出兵シテ北伐シタル宣言ノ重要意義ヲ説明ス
		<ul style="list-style-type: none"> 一 孔子平生ノ事蹟概略ヲ講演ス 二 孔子ノ學說ヲ講演ス 三 國父孫中山ノ革命思想ト孔子トノ關係ヲ講演ス
		<ul style="list-style-type: none"> 一 各和平運動先烈ノ和平反共建國ノ爲ニ犠牲トナリタル事蹟概略ヲ講演ス 二 各和平運動先烈平生ノ言行ヲ講演ス 三 各和平運動先烈ノ特殊精神ヲ講演ス

表 日 念 記 定 國		
十月十日	國慶記念日	此ノ日ハ休暇トス全國一律ニ國旗ヲ掲揚シ五彩ノ巾ヲ懸ゲ提燈行列シテ之ヲ慶祝シ且各該地政府ニ於テ各界ノ慶祝大會ヲ召集開會ス
十一月十二日	總理誕辰(誕生日)記念日	此ノ日ハ休暇トス全國一律ニ國旗ヲ掲揚シテ之ヲ慶祝シ且各該地政府ニ於テ各界ノ記念大會ヲ召集開會ス
十二月二十五日	雲南起義記念日	此ノ日ハ休暇トセズ全國一律ニ國旗ヲ掲揚シテ之ヲ記念シ且各機關、各團體、各學校ニ於テ夫々集會シテ之ヲ記念ス
		<ul style="list-style-type: none"> 一 國慶日ノ意義ヲ講演ス 二 總理遺著中ノ雙十節(十月十日)記念ヲ解釋ス 三 民國元年ノ一年前ノ武昌首義(第一回革命)ノ情況及今後ノ努力ニ對スル講演
		<ul style="list-style-type: none"> 一 總理平生ノ革命ノ重要事蹟概略ヲ講演ス 二 總理ノ學說ヲ講演ス 三 民主主義ヲ講演ス
		<ul style="list-style-type: none"> 一 雲南革命ノ情況ヲ講演ス 二 封建專制及民主政治トノ比較ヲ講演ス

華中調查速報第二二〇號
昭和十六年七月

安徽省公報抄（邦譯）

民國三十年三月份 第二十七期

吳亞院華中連絡部

83

發送先

本院

華北連絡部次長
蒙疆、廈門各連絡部長官
青島出張所長
漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長
陸軍參謀次長
支那派遣軍總參謀長
登集園總參謀長
支那派遣軍總司令部報道部長
中支那派遣憲兵隊司令官
上海憲兵隊長
特務機關本部長
上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、
安慶、寧波、特務機關長
漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長
上海方面海軍根據地隊司令官
海軍上海駐在武官長
第一海軍經理部長
支那方面艦隊報道部長
漢口海軍特務部長
在南京大使館
在上海、南京、漢口、各總領事
杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事
外務省大臣官房文書課
滿鐵上海事務所
東亞研究所 上海
中華民國法制研究會

84

凡例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるもののみを攝録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目次

一 安徽省各縣防共自衛團組織暫行規程	一
二 安徽省各縣臨時防疫委員會組織通則	一
三 安徽省建設廳防汛辦事處組織規程	一
四 安徽省各縣縣防汛辦事處民工防汛隊組織簡章	二
五 安徽省建設廳防汛總辦事處辦事規則	二
六 安徽省各縣縣防汛辦事處辦事規則	三
七 安徽省各縣民工防汛隊實施辦法	三
八 安徽省肄業國立大學學生獎學金暫行辦法	三

安徽省各縣防共自衛團組織暫行規程

第一章 總 則

第一條 本省政府ハ各縣地方ノ治安ヲ維持保護シ及人民ノ自衛能力ヲ増進スル爲特ニ本規程ヲ制定ス

第二條 各縣ノ防共自衛團ハ匪共（黨匪、共產匪）ヲ防備、剿滅シ軍警ヲ補助シテ地方治安ヲ維持スルヲ主旨トス

第三條 各縣ノ防共自衛團ハ各該縣ノ自治區域ヲ以テ區域トス

第四條 各縣ノ防共自衛團ノ編制左ノ如シ

- 一 團丁十人乃至十四人ヲ一班トシ每班ニ班長一人、副班長兼教練一人ヲ置キ各本班ノ教練及管理ノ責ヲ負フ
- 二 二班又ハ四班ヲ一分隊ニ編制シ（二十四人乃至五十人）分隊長一人ヲ置キ三分隊ヲ一中隊トシ、中隊長一人、

教練員一人ヲ置キ三中隊ヲ一大隊トシ大隊長及副大隊長各一人ヲ置キ各本隊ノ教練及管理ノ責ヲ負フ

三大隊ヲ一區團トシ區團長及副區團長ヲ各一人置キ區長又ハ鄉鎮長ニ於テ夫々之ヲ兼任シ（若既ニ警察機關ノ設ケアル場所ニ在リテハ警察分所長又ハ巡官ヨリ副區團長ヲ兼任セシムベシ）全區又ハ全鄉鎮ノ自衛事項ヲ管理ス

但シ每區團ニ若干隊ヲ設ケ又ハ區分團ニ改設シ區團長ニ於テ副區團長ト協議ノ上地方情況ヲ酌量シ總副團長ニ申請シテ之ヲ査定スルコトヲ得

四 鄉鎮内ノ住宅ガ五十戸以上アルトキハ一班ヲ設クルコトヲ得其ノ班長ハ保長之ニ任ズ

百戸以上二百戸以上アルトキハ一分隊又ハ一中隊ヲ設

- タルコトヲ得其ノ分隊長又ハ中隊長ハ郷鎮長ヲ之ニ充テ若郷鎮長ノ居住地ニ非ラズ又ハ適當ナラザルモノト認メタルトキハ當地ノ公正ナル人士又ハ確實ノ商店ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
- 五 住宅三百戸以上アルトキハ一大隊又ハ數大隊ヲ設クルコトヲ得其ノ大隊長ノ人選ハ本條第四項ニ依リ之ヲ處理ス
- 六 各縣ノ縣長ハ總團長ヲ兼任シ副團長二人ハ警察局長及地方ノ公正ナル紳士ヲ以テ之ニ充ツ
- 七 每中隊ノ訓練事項ハ教練員ニ於テ適切ニ責ヲ負フモノトシ每班ノ訓練ハ副班長兼教練ニ於テ適切ニ責ヲ負フベシ
- 八 每郷鎮ニ分隊又ハ中隊ヲ設クベシ其ノ定額ハ區團長及

副團長ニ於テ人口ノ多寡ニ應ジ總團部ニ申請シテ適宜査定シテ之ヲ増減スルコトヲ得

九 各團、隊、班ノ團丁ハ本郷ノ居民ヲ調達シテ之ヲ編制スベシ

第五條

- 一 身體強壯、思想純正、品行善良ノ男子ニシテ左記資格ノ一ニ該當スル者ハ自衛團々丁ニ充ツルコトヲ得
- 二 本郷ニ確定住所アル者
- 三 正當職業アリ又ハ恒産アル者
- 四 本郷ニ常住シ公正ナル人士及確實ナル商店ノ親戚又ハ友好關係アル者

第六條

自衛團總團長、副團長ハ民政廳警務處ニ於テ會審（官吏ガ上申又ハ告示等ノ官吏書ニ二人以上連署スルヲ云フ）シテ之ヲ委任ス

區團長、副區團長、大隊長、副大隊長、中隊長、分隊長ハ總副團長ニ於テ夫々會銜（官吏ガ上申又ハ告示等ノ官文書ニ二人以上連署スルヲ云フ）シテ之ヲ委任シ且民政廳ヲ經テ省政府ニ提出記録セシメ又別ニ警務處ニ報告シテ記録セシム
班長、副班長及教練員ハ區團長ニ於テ副區團長ト協議ノ上人員ヲ選拔シテ之ヲ委任シ且總團部ニ報告シテ記録セシム
第七條 自衛團總團部ガ匪情ノ動態及地方情況ヲ報告スルトキハ併セテ民政廳及警務處ニ報告スベシ
第八條 區ノ分團及各大隊、中隊又ハ分隊、班ハ左記ノ書類ヲ區團長ヲ經テ總團部ニ提出シ夫々之ヲ保存又ハ移牒スベシ
一 中隊長以下ノ將校ノ連帶保證書
二 團丁名簿及連帶保證書
前項ノ書式及様式ハ民政廳ニ於テ規定シ省政府ニ報告シテ之

ヲ査定ス
第九條 自衛團隊ノ辦公地點（執務場所）ハ地方ノ公有家屋又ハ祠廟（祖宗又ハ名官鄉賢ヲ祠レル廟）ニ之ヲ設置ス
第十條 自衛團總團部ハ民政廳ニ於テ木製ノ鈐記（官印）ヲ作製交付シ其ノ印影ハ夫々民政廳警務處ニ報告ス
各團隊ハ班ハ總團部ニ於テ木製ノ圖章記（印章）ヲ作製交付シ其ノ印影ハ總團部ニ報告記録セシム
上項ノ鈐記、圖章記ハ自衛團ニ關スル事項ニ非ザレバ鈐記、圖章記ヲ使用スルコトヲ得ズ
其ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム
第十二條 自衛團ノ旗幟ハ總テ民政廳ニ於テ様式ヲ規定シ省政府ニ申請シテ査定ヲ受ク且其ノ様式ヲ警務處ニ送付シテ記録セシム

第十二條 自衛團區域内居住民ノ所有セル自衛銃器及彈丸ハ正式ニ自衛ノ用ニ充ツルコトヲ許可ス

第十三條 自衛ニ屬スル銃器及彈丸ハ自衛團編制ノ前ニ縣政府ニ報告シテ記録セシメ且查驗自衛槍砲給照辦法ノ規定ニ依リ警察機關ニ報告シ人員ヲ派遣セシメテ之ヲ検査シ事實ニ屬スルトキハ焼印、番號編製シテ之ヲ登記シ更ニ責任ヲ持チテ保管スル様命ズベシ

第十四條 自衛團ノ編成ニシテ若原有定額ノ銃器、彈丸ガ尙使用スルニ足ラザルトキハ總團長ニ於テ民政廳ヲ經テ省政府ニ増置ヲ移牒スルコトヲ得且警務處ニ報告シテ記録セシム

第十五條 正式ノ銃器ヲ使用スルトキハ總テ查驗自衛槍砲給照辦法ニ依リ之ヲ處理ス且別ニ書類ヲ作製シテ民政廳ニ報告記録セシム

第十六條 匪共ノ防備、剿滅ニ因リ彈丸ヲ消耗シタルトキハ隨時總團長ニ報告シ民政廳ヲ經テ省政府ニ移牒シ之ヲ取消サシメ且

警務處ニ報告記録セシムベシ

第十七條 銃器彈丸ヲ紛失シタルトキハ其ノ事情ノ輕重ニ依リ夫々之ヲ處罰ス

第十八條 銃器彈丸ヲ私藏隱匿シテ報告セザル場合之ガ告發ヲ經テ逮捕シタルトキハ法ニ依リ之ヲ懲罰ス

第十九條 本省政府ハ紛失又ハ匪共ニ供給スルコトヲ防グ爲必要アリト認メタルトキハ人員ヲ派遣シ又ハ軍政部ト協議シテ人員ヲ派遣シ隨時各縣ノ民有銃器ヲ検査セシムルコトヲ得

第四章 教育

第二十條 自衛團ノ教育ハ三月ヲ以テ一期ト爲ス

第二十一條 精神教育ハ總團長ニ於テ相當ナル學識アル者ヲ招聘シテ

之ヲ擔任セシム

第二十二條 衛科教育ハ各中隊ノ教練員之ヲ擔任シ學科教育ハ總團長ニ於テ軍事學識ニ富ム者ヲ招聘シテ擔任セシム

第五章 統率

第二十三條 自衛團ノ指揮系統左ノ如シ

- 一 區團長、副區團長ハ總副團長ノ指揮ヲ受ク
- 二 區分團長大隊長ハ區團長、副區團長ノ指揮ヲ受ク
- 三 中隊長ハ區團長、區分團長及大隊長ノ指揮ヲ受ク
- 四 分隊長ハ中隊長ノ指揮ヲ受ク
- 五 班長ハ分隊長ノ指揮ヲ受ク

第二十四條 監督事項左ノ如シ

- 一 思想検査
- 二 勤惰検査

- 三 價格検査及品行検査
- 四 經費ノ收入及支出ノ査定
- 五 銃器検査
- 六 其ノ他監督スベキ事項

第六章 獎懲（賞罰）

第二十五條 自衛團ニシテ自衛事項ノ處理ニ付左記事情ノ一アルトキ

ハ總團長ニ於テ縣政府ニ報告シ民政廳ヲ經テ省政府ニ移送シ夫々優待ニ郵金獎勵スルコトヲ得且警務處ニ報告記録セシム

- 一 通緝（各地方ニ命令シテ捕縛スル）又ハ懸賞拿捕ノ兵匪、共匪ヲ捕獲シタル者
- 二 黨匪、共產匪ノ強奪、擾亂ニ際シ極力防禦シテ地方ヲ安全ナラシメタル者
- 三 近隣郷區ノ匪賊發生ニ際シ救援ニ赴キ黨匪ヲ擊退シタ



- ル者
- 四 現場ニ黨匪、共產匪ヲ捕獲シ其ノ銃器、彈丸ヲ奪取シタル者
- 五 黨匪、共產匪ノ捕縛ニ因リ傷痕ヲ受ケ又ハ死亡シタル者

第二十六條

自衛團ニシテ自衛事項ノ處理ニ付左記事情ノ一アルトキハ縣政府ニ於テ賞與獎勵スルコトヲ得

- 一 黨匪、共產匪ノ計劃又ハ行動ヲ報告シ之ニヨリテ豫メ防備又ハ捕獲セシメタル者
- 二 黨匪、共產匪ノ隱匿場所ヲ報告シ之ニヨリテ確實ニ捕獲セシメタル者
- 三 消防及災害防禦ニ盡力シタル者
- 四 全國救護ノトキ成績優良ナル者

第二十七條

自衛團ニシテ自衛事項ノ處理ニ付左記事情ノ一アルトキハ縣政府ニ於テ夫々法ニ依リ之ヲ懲罰ニ處スルモノトシ且民政廳警務處ニ報告セシム

- 一 黨匪、共產匪ヲ收容隱匿シテ報告セザル者
 - 二 本郷ノ匪賊發生ニ際シ力ヲ盡シテ防禦セザル者
 - 三 善良ナル者ヲ無實ニ陥レ又ハ濫リニ逮捕ヲ行フ者
 - 四 公務ニ名ヲ藉リテ擾亂シ又ハ財物ヲ詐取シタル者
 - 五 演習訓練ノトキ故ナクシテ出場セザル者
- 第二十八條 自衛團ニシテ自衛事項ノ處理ニ付左記事情ノ一アルトキハ縣政府ニ於テ事情ヲ明査ノ上民政廳ヲ經テ省政府ニ移牒シ夫々法ニ依リ之ヲ懲罰ニ處スルモノトシ且警務處ニ報告記録セシム
- 一 黨匪、共產匪及反動分子ニ武器ヲ供給救済シタル者
 - 二 敢テ規則ヲ守ラヌ者

三 明カニ上記二項ノ事情ヲ知リテ故意ニ取締ラザル者
四 文字、圖畫ヲ用ヒテ赤化ヲ宣傳シ證據アリテ事實ニ屬
スル者

五 故意ニ謠言ヲ捏造シテ治安ノ擾亂ヲ意圖シ證據アリテ
事實ニ屬スル者

第七章 經 費

第二十九條 自衛團ハ教育擔任及文書處理人員ニ對シ適宜俸給ヲ支給
スルヲ除クノ外其ノ他ハ總テ名譽職トス

第三十條 自衛團ノ經費ハ總團長ニ於テ籌款辦法（金錢計劃方法）
ヲ決定シタル總團長ヨリ夫々民政廳、財政廳、警務處ニ提出
シ査定ヲ經テ之ヲ施行ス

第三十一條 自衛團ノ經費ハ區團長、大隊長又ハ中隊長ニ於テ毎月其
ノ收支額ヲ公布スルヲ除クノ外且區團長ニ於テ一括ニ台帳ヲ

作製シ總團長ニ報告審査ヲ經テ民政廳、財政廳、警務處ニ移
戻シテ記録セシム

第八章 附 則

第三十二條 本規程ハ省政府ヨリ行政院ニ報告シ且内政部、軍政部、
警政部ニ提出シテ記録セシム

第三十三條 本規程ノ施行細則ハ各縣ニ於テ之ヲ決定ノ上民政廳、警
務處ニ提出シテ記録セシム

第三十四條 本規程ハ省政府委員會々議ノ決議ヲ經テ之ヲ公布施行ス
若未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之ヲ修正スル
コトヲ得

第三十五條 本規程ノ公布施行後總テ前安徽省政府頒布ノ安徽省鄉區
防共自衛團組織暫行規程ハ直ニ同日之ヲ廢止スベシ

安徽省各縣臨時防疫委員會組織通則

- 第一條 各縣政府ハ本省臨時防疫委員會組織簡章第二十條ノ規定ニ依リ縣臨時防疫委員會（以下縣委會ト略稱ス）ヲ設立シ省臨時防疫委員會ノ監督指揮ヲ受ケ各該縣ノ防疫事務ヲ處理ス
- 第二條 縣委會ノ名稱ハ各該縣ノ縣名ヲ冠シ會ノ場所ハ縣政府ニ附設スベシ
- 第三條 縣委會ニ主任委員一人ヲ置キ縣長之ヲ兼任ス委員六人乃至十二人ハ主任委員ニ於テ左記各機關團體ノ代表ヲ招聘シテ之ニ充テ且各委員中ニ於テ二人ヲ推選シテ常務委員ト爲ス
 - 一 警察所々長
 - 二 縣政府衛生主管科々長
 - 三 縣政府教育主管科々長又ハ教育局々長

- 四 公私立醫院々長又ハ診療所主任
 - 五 縣黨部委員
 - 六 商會代表
- 第四條 縣委會ハ各該縣ノ關係アル人士ヲ招聘シテ顧問ト爲スコトヲ得
- 第五條 縣委會ニ左ノ三組ヲ設ク
- 一 總務組
 - 二 衛生組
 - 三 検査組
- 第六條 總務組ノ職掌左ノ如シ
- 一 文書ノ收發及官印、記錄ノ保管ニ關スル事項
 - 二 文書ノ起草ニ關スル事項
 - 三 開會記錄ノ編列ニ關スル事項

- 四 人事ニ關スル事項
- 五 會計、庶務及豫算、決算ノ編制ニ關スル事項
- 六 防疫宣傳ニ關スル事項
- 七 防疫人員ノ勤惰考査及防疫工作ノ實施ニ關スル事項
- 八 其ノ他各組ニ屬セザル事項

第七條 衛生組ノ職掌左ノ如シ

- 一 藥品、器具ノ購入及保管ニ關スル事項
- 二 防疫工作ノ實施及調査ニ關スル事項
- 三 疫病ノ検査ニ關スル事項
- 四 公共衛生ノ監督及推進ニ關スル事項
- 五 衛生統計ニ關スル事項

第八條 検査組ノ職掌左ノ如シ

- 一 住宅ニ疫病患者有無ノ検査ニ關スル事項

- 二 公共場所及飲食店ノ衛生妨害取締ニ關スル事項
- 三 街道、住宅ノ清潔及溝渠浚渫等ノ監督取締ニ關スル事項
- 四 不潔ナル飲食及其ノ用具ノ取締ニ關スル事項
- 五 検査工作報告表ノ作製ニ關スル事項

第九條 縣委會ノ各組ニ各組長一人ヲ置キ常務委員又ハ委員之ヲ兼任ス

第十條 縣委會ニ組員六人乃至十人ヲ置キ主任委員ノ命ヲ承ケ且

各組長ノ監督指揮ノ下ニ夫々各事務ヲ處理ス

第十一條 縣委會ニ醫師、助理醫師（助手）、看護婦、事務員若干

人ヲ置キテ防疫注射及種痘事項ヲ處理スルコトヲ得

第十二條 縣委會ハ書記若干人ヲ置キテ簿書、校正等ノ事務ヲ處理セシムルコトヲ得

第十三條 縣委會ノ委員會議ハ毎月一回舉行スルモノトシ其ノ時間ハ主任委員ニ於テ之ヲ決定ス
 開會ノトキ若シ主任委員ガ事故ニ因リ缺席シタルトキハ常務委員中ヨリ一人ヲ推選シテ之ヲ代理ス
 第十四條 縣委會ノ常務委員會議ハ每週一回舉行スルモノトシ其ノ時間ハ主任委員ニ於テ之ヲ決定ス但シ必要アルトキハ臨時會議ヲ召集スルコトヲ得
 第十五條 縣委會ノ主任委員、常務委員及委員ハ總テ名譽職トス
 第十六條 縣委會ノ職員ハ醫師及看護婦等ノ適宜俸給ヲ支給スルヲ除クノ外他ハ總テ名譽職トス但シ事務繁劇ナルトキハ適宜車馬費ヲ支給スルコトヲ得
 第十七條 縣委會ノ經常費、臨時費ハ縣ノ地方金ヨリ之ヲ支出ス但シ豫算書ヲ作製シ省臨時防疫委員會ヲ經テ省政府ニ移戻シテ

之ヲ決定スベシ
 第十八條 縣委會ノ藥品ハ中央ヨリノ交付又ハ關係方面ノ援助ヲ除クノ外他ハ親ラ之ヲ購買スベシ
 第十九條 縣委會ハ親ラ鈐記（印章）「安徽省某々縣臨時防疫委員會鈐記」一個ヲ作製スルコトヲ得且印影ヲ添付シテ省臨時防疫委員會ニ報告記録セシムベシ
 第二十條 縣委會ノ辦事細則ハ各縣ニ於テ之ヲ制定ス
 第二十一條 本通則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之ヲ修正スルコトヲ得
 第二十二條 本通則ハ省政府委員會議ノ決議ヲ經テ之ヲ公布施行ス

安徽省建設廳防汛辦事處組織規程

- 第一條 安徽省建設廳江蘇省、安徽省ノ堤防及省地方全体ノ汎
 濫防備ノ搶險（危險ニテ急ヲ要スル河工ハ本部ニ呈請スルヲ
 用ヒズ即時ニ修理スルヲ云フ）工作ヲ實施スル趣旨ノ下ニ特
 ニ管地方ニ於テ防汛（汎濫防備）總辦事處ヲ設立シ且淮、淮
 水、河ノ名、河南省ニ發源シ安徽ニ入り江蘇ノ境ヨリ洪澤湖
 ニ入ル）ニ沿フ鳳陽縣（靈璧縣ヨリ鳳陽縣ニ流レ入ル）懷遠
 縣、五河縣、壽縣及揚子江ニ沿フ當塗縣、蕪湖縣、和縣、懷
 寧等ノ八縣ニ於テ縣防汛辦事處ヲ設立ス
- 第二條 防汛總辦事處ハ建設廳ニ附設シ各縣ノ縣防汛辦事處ハ各
 縣ノ縣政府ニ附設ス
- 第三條 防汛總辦事處ノ職掌左ノ如シ

- 一 申請許可ノ豫定計劃ニ依リ江蘇省、安徽省ノ堤防及省
 地方全体ノ汎濫防備ノ搶險（危險ニテ急ヲ要スル河工
 ハ本部ニ呈請スルヲ用ヒズ即時ニ修理スルヲ云フ）事
 項ヲ監督指揮ス
 - 二 全省ノ防汛（汎濫防備）事務工務人員ノ進退及考査ニ
 關スル事項
 - 三 全省ノ防汛章程規則辦法ノ制定ニ關スル事項
 - 四 全省ノ防汛事務ノ工務費、豫備費等ノ計劃及收入、保
 管ニ關スル事項
 - 五 材料ノ購入備付ケ及處理ニ關スル事項
- 第四條 防汛總辦事處ニ處長一人ヲ置キ建設廳長之ヲ兼任シ副處
 長、秘書各一人ハ處長ニ於テ人員ヲ選拔又ハ派遣シテ之ヲ兼
 任セシメ夫々省政府及水利委員會ニ報告記録セシム

第五條 各縣ノ縣防汛辦事處ニ主任一人ヲ置キ縣長之ヲ兼任シ副主任一人ハ各縣政府ノ建設科長又ハ建設局長之ヲ兼任シ總テ防汛總辦事處ニ於テ之ヲ委任ス

第六條 防汛總辦事處ニ左ノ各組ヲ設ク

一 總務組

二 工務組

三 材料組

四 會計組

第七條 總務組ハ左ノ事項ヲ掌理ス

一 文書ノ收發、分配、起案及保管ニ關スル事項

二 文書ノ調製、校正ニ關スル事項

三 人員ノ任免及賞罰ニ關スル事項

四 表冊ノ報告ニ關スル事項

第八條 工務組ハ左ノ事項ヲ掌理ス

一 調査、測量及製圖ニ關スル事項

二 各種工事ノ設計ニ關スル事項

三 工事ノ設計、監督及臨時救助ニ關スル事項

四 防汛材料ノ配備ニ關スル事項

五 材料組ハ左ノ事項ヲ掌理ス

一 材料ノ購入及輸送ニ關スル事項

二 材料ノ検査及保管ニ關スル事項

三 材料ノ報告ニ關スル事項

四 材料ノ消耗及堆積ニ關スル事項

第九條 材料組ハ左ノ事項ヲ掌理ス

- 一 材料ノ購入及輸送ニ關スル事項
- 二 材料ノ検査及保管ニ關スル事項
- 三 材料ノ報告ニ關スル事項
- 四 材料ノ消耗及堆積ニ關スル事項

第十條 會計組ハ左ノ事項ヲ掌理ス

- 一 經常費、臨時費等ノ收支ニ關スル事項
- 二 記帳及豫算決算ノ報告ニ關スル事項
- 三 雜支出ニ關スル事項

第十一條 各組ニ組長一人ヲ置キ處長ニ於テ建設廳秘書科長又ハ技

正、技士ニ就キ之ヲ任命シ組員二人乃至四人ハ處長ニ於テ人員ヲ選抜シ又ハ處ノ職員中ヨリ選抜シテ之ヲ兼任セシメ且防汎總辦事處

第十二條 防汎總辦事處ハ工事ノ必要ニ依リ指導技師ヲ置クコトヲ

得

第十三條 各縣ノ縣防汎辦事處ノ職員ハ主任、副主任ニ於テ水利工

事ニ熟練ナル技術人員ヲ僱聘シ又ハ縣政府ノ科員、辦事員中ヨリ二人乃至四人ヲ指定シテ之ヲ兼任セシメ且防汎總辦事處ニ報告記録セシム

第十四條 各縣ノ縣防汎辦事處ニ於テ汎濫防備ノ搶險工作ヲ處理ス

ルトキハ各縣ニ民工防汎隊ヲ組織スベシ各隊ハ總テ某縣第何隊ト稱ス

第十五條 防汎總辦事處及各縣ノ縣防汎辦事處ノ辦事規則又ハ民工

防汎隊組織簡章及各縣民工防汎隊ノ實施辦法ハ總テ別ニ之ヲ定ム

第十六條 本規程ハ省政府ノ認可ヲ經テ之ヲ公布施行ス若未ダ整サ

ザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之ヲ修正スルコトヲ得

安徽省各縣防汛辦事處民工防汛隊
組織簡章

- 第一條 本簡章ハ安徽省建設廳防汛辦事處組織規程第十五條ノ規定ニ依リ之ヲ制定ス
 - 第二條 各縣ノ縣防汛辦事處ハ民工防汛隊ヲ設置スルコトヲ要シ且縣政府ト協議ノ上堤防十里以內ノ田地及水佃權（水小作權ニ當ル）アル住家ノ年齡十八歲以上四十五歲以下ノ壯丁ヲ以テ之ヲ組織ス
 - 第三條 民工防汛隊ハ若干汛段（汛段防備區）ヲ分設シ每汛段防備區ニ汛隊（汛段防備隊）一隊ヲ置キ每隊ノ定員ヲ六十人ト定ム
- 但シ各縣ノ縣防汛辦事處ノ主任、副主任ハ大汛期間中ハ各該汛段防備工作ノ情況及事實上ノ必要ニ應ジ堤防十里以外ノ

住家ノ壯丁ヲ召集シ臨時防汛隊ヲ組織シテ之ヲ補助スルコトヲ得

- 第四條 各縣ノ縣防汛辦事處ハ縣政府ト協議シ汛丁（汛段防備員）ヲ選拔スルトキ各汛段防備區內ノ住家ノ人民ヲ平均ニ選拔スルコトヲ原則トス但シ財產アルモ壯丁ナキトキハ出資シテ之ヲ雇フベシ
- 第五條 一民工防汛隊毎ニ隊長一人、汛丁十五人毎ニ汛目（汛段防備員頭）一人ヲ置キ隊長ハ區長及保主任又ハ堤董（堤防ノ幹部員）之ニ充テ汛目ハ甲長（戶數百戶ノ自治團ノ長）又ハ該水利工事ヲ略知スル壯丁之ニ充ツ
- 第六條 一汛段防備區ガ兩縣ノ境界ニ亘ルトキハ各該縣ノ縣防汛辦事處ノ主任ニ於テ協議ノ上之ヲ組織ス
- 第七條 民工防汛隊ハ縣防汛辦事處主任及副主任ノ監督指揮ヲ受

クベシ

第八條 民工防汎隊ハ夏至ノ後ヨリ霜降前迄夫々期日ヲ定メテ之ヲ招集シ隊長ニ於テ堤防駐屯工作ヲ指揮ス

第九條 民工防汎隊ノ毎日ノ工作時間ハ縣防汎辦事處主任、副主任及隊長ニ於テ汎濫事情ノ緩急及堤防トノ距離ノ遠近ニ應ジ適宜之ヲ定ム但シ大汎濫ノ緊急ノ際ハ日夜ヲ問ハズ常時堤防ニ駐屯シ繰返シ偵察シテ之ヲ保護スベシ

第十條 民工防汎隊ノ用フベキ工具ハ各汎丁ニ於テ之ヲ自備スルヲ除クノ外之ガ増備スル必要アルトキハ各隊長ニ於テ豫メ縣汎辦事處主任、副主任ニ申請シ認可ノ上堤防附近ノ民衆ニ對シ之ヲ均等ニ借用スベシ

第十一條 民工防汎隊ノ旗幟及腕章ハ一律ヲ期シ考査ニ便ナラシムル爲防汎總辦事處ニ於テ之ヲ製定頒布ス

第十二條 民工防汎隊ノ汎目及汎丁ハ汎濫工作ノトキニ於テハ均等勤勞ヲ謀ル爲一切ノ差徭(國家ノ土木工事ニ人民ヲ徵發スルコト)ヲ免除セシムルコトヲ得

第十三條 各汎濫區ノ汎丁ニ缺員アルトキハ別ニ各汎濫區ノ住家ニ於テ之ヲ選抜補充ス

第十四條 隊長缺員アルトキハ別ニ各汎濫區ノ其ノ他ノ區長及保主任又ハ堤董(堤防幹事)ニ於テ順次之ヲ補充シ又汎目缺員アルトキハ其ノ他ノ甲長又ハ汎丁ノ中ヨリ之ヲ選抜補充ス

第十五條 民工防汎隊ノ汎目、汎丁ノ工作動情ハ各隊長ニ於テ適切ニ之ヲ考査ノ上縣防汎辦事處主任ニ申請シ夫々名譽賞品ヲ給付シ又ハ適宜工作ノ懲罰ヲ加ヘ且防汎總辦事處ニ報告記録セシム

第十六條 民工防汎隊隊長、汎目、汎丁ハ總テ名譽職トシ一律ニ俸

給フ支給セズ但シ大汎濫期間中ニ於テハ毎月食費ヲ支給スル
コトヲ得

其ノ豫算ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條 大汎濫期間中危險工作ノ發生アルトキハ臨時其ノ情況ニ
應ジ汎濫區ヲ閉ハズ他區ノ汎濫ヲ調達シテ之ヲ援助セシム
ルコトヲ得

第十八條 民工汎濫ニシテ夏至前ニ成立シタルトキハ各縣ノ縣防
汎濫事務ニ於テ隊長、汎目、汎丁名簿ヲ作成シテ汎濫事務
處ニ報告記録セシム但シ各住家ノ財産及人口ニ異動アルトキ
ハ隨時調査シテ之ヲ報告ス

第十九條 本簡章ハ省政府ニ申請シ認可ノ上之ヲ公布施行ス若未ダ
認可アルノ事項アルトキハ臨時申請シテ之ヲ修正スルコトヲ
得

安徽省建設廳防汛總辦事處辦事規則

第一條 本規則ハ安徽省建設廳防汛總辦事處組織規程第十五條ノ規
定ニ依リ之ヲ制定ス

第二條 處長ハ長官ノ命ヲ承ケ防汛（汎濫防備）搶險（危險ニテ
急ヲ要スル河工ハ本部ニ呈請スルヲ用ヒズ即時ニ修理スルヲ
云フ）ノ一切事項ヲ處理シ秘書ハ處長、副處長ノ命ヲ承ケ全
處各組ノ一切事務ヲ綜理ス

第三條 各組ノ組長ハ處長、副處長ノ命ヲ承ケ主管事務ヲ處理ス

第四條 各組ノ組員ハ組長ノ命ヲ承ケ各該組ノ事務ヲ處理ス

第五條 指導工程師（指導技師）ハ處長、副處長ノ命ヲ承ケ工務
組ト協同シテ防汛搶險等ノ事項ヲ設計指導ス

第六條 本處ノ兼任職員ハ總テ俸給ヲ支給セズ但シ適宜臨時手當

ヲ支給スルコトヲ得

第七條 指導技師及工務組ノ技術人員ハ俸給及臨時手當ヲ除クノ外必要アルトキハ外勤手當ヲ支給スルコトヲ得

第八條 本處ノ職員ハ汎濫防備期間内ノ文書ニ對シテハ即時之ヲ處理スルモノトシ若執務時間ヲ過ギタルモ未ダ處理未了ノトキハ之ヲ延長スルコトヲ得

第九條 汎濫防備區ニ派遣シタル外勤人員ハ確實ナル重大事故アルニ非ザレバ請假（缺勤）スルコトヲ得ズ又確實ニ事故ニ因リ缺勤許可ヲ受ケタルモノハ時間ノ長短ヲ問ハズ總テ代選ヲ派遣シタルモノニ限り始テ職ヲ離ルコトヲ得之ニ從ハザルモノハ職務怠慢ト看做ス之ニヨリ緊要ナル工作ヲ妨害シタルトキハ防汛工程人員獎懲條例ノ規定ニ依リ之ヲ處罰スベシ但シ汎濫期間中ノ重大ナルトキハ各員ハ總テ定例休暇ヲ取

消スモノトシ違反シタルモノ亦同シ

第十條 汎濫期間中各縣防汛處及各汎濫區ニ於テハ總テ逐日夫々工作狀況ヲ本處ニ報告スルコトヲ要シ若危險工作アルトキハ豫メ之ヲ處理シ而ル後本處ニ報告記録セシムベシ

第十一條 防汛期間ノ公文ハ電報又ハ至急郵便ヲ以テ之ヲ送付スルヲ除クノ外且人ヲシテ之ヲ遞送スルコトヲ得

第十二條 本處ノ辦事細則ハ別ニ之ヲ定ム
第十三條 本規則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之ヲ修正スルコトヲ得

第十四條 本規則ハ省政府ニ申請シ認可ノ上之ヲ公布施行ス

(原1170.31-1)

摘要	華中調查報告 第一三四号 自第一三六号 至第一三十一号 送付 54	月	日	昭利拾六年九月拾壹日接受 附屬	東亞局長 第一課
		附	附		

亞
 16.9.13
 一

104



(分類 A11.0.31-1)

摘要	華中 連絡部 華中 連絡部	東亞局長 第一課
華中調查速報 第一二四号 自三三三号 至三三三号 送付件	日附	昭 和 拾 六 年 九 月 拾 五 日 接 受
	附屬	昭 和 拾 六 年 九 月 拾 五 日 接 受

55
16.9.15

105



安徽省各縣縣防汎辦事處規則

- 第一條 本規則ハ安徽省建設廳防汎辦事處組織規程第十五條ノ規定ニ依リ之ヲ制定ス
- 第二條 各縣々防汎辦事處主任ハ防汎總辦事處ノ命ヲ承ケ所屬セル防汎（汎濫防備）搶險（危險ニテ急ヲ要スル河工ハ本部ニ早請スルヲ用ヒズ即時ニ修理スルヲ云フ）ノ一切事項ハ處理ヲ監督指揮ス副主任ハ主任ヲ輔佐シテ處務ヲ處理ス
- 第三條 各縣々防汎辦事處ノ兼任職員及民工隊長ハ總テ主任ニ於テ之ヲ任命シ長官ノ命ヲ承ケ防汎事務ヲ處理シ且防汎總辦事處ニ報告記録セシム
- 第四條 各縣々防汎辦事處ハ各該縣政府ト協議ノ上各區、坊、鄉、鎮長等ヲ指揮シテ汎目、汎丁ノ徵募及防汎搶險等ノ事項ヲ處理ス

- 第五條 各縣々防汎辦事處ノ職員中少クトモ熟練セル河工人員二人ガ汎濫區ニ常駐シテ之ヲ援助シ汎隊ヲ指揮シテ防汎搶險工作ヲ處理セシムベシ
- 第六條 各縣々防汎辦事處ノ職員ハ雇員ヲ除クノ外兼任人員ハ總テ俸給ヲ支給セズ但シ適宜臨時手當ヲ支給スルコトヲ得其ノ額ハ事務ノ繁簡ニ應ジ認可ヲ經タル經常費ノ内ヨリ節約シテ平均ニ之ヲ支出スルモノトシ別ニ經費ノ申請ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第七條 各縣々防汎辦事處ノ主任、副主任及外勤人員ハ適宜臨時手當ヲ支給スルヲ除クノ外旅費、食費、宿泊費等ヲ支給スルコトヲ得但シ經常費内ヨリ之ヲ支出シ別ニ經費ノ申請ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第八條 各縣々防汎辦事處ノ職員ハ一切ノ公文ニ對シテハ即時之

ヲ處理スルモノトシ若執務時間ヲ過ギタルモ未ダ處理未了ノ
トキハ之ヲ延長スルコトヲ得

第九 條 汎濫防備區ニ派遣シタル外勤人員ハ確實ナル重大事故ア
ルニ非ザレバ請假（缺勤）スルコトヲ得ズ又確實ナル事故ニ
因リ缺勤許可ヲ受ケタルモノハ時間ノ長短ヲ問ハズ總テ代理
ヲ派遣シタルモノニ限り始テ職ヲ離ルコトヲ得之ニ從ハザル
モノハ職務怠慢ト看做ス之ニヨリ緊要ナル工作ヲ妨害シタル
トキハ主任。副主任ニ於テ防汛工程人員獎懲條例ノ規定ニ依
リ之ヲ處分スベシ

但シ大汎濫期間中ノ重大ナルトキハ各員ハ總テ定例休暇ヲ取
消スモノトシ之ニ違反シタルモノ亦同シ

第十 條 各縣々防汛辦事處ノ防汛工作處理ニ付テハ毎旬總辦事處
ニ報告スルコトヲ要シ汎濫時期ノ緊急ナルトキハ且逐日工作

狀況ヲ報告スベシ

第十一 條 各縣ノ縣防汛辦事處ノ一切公文ハ電報又ハ至急郵便ヲ以
テ之ヲ送付スルヲ除クノ外且人ヲシテ之ヲ遞送スルコトヲ得

第十二 條 各縣ノ縣防汛辦事處ノ細則ハ自ラ之ヲ定メ更ニ防汛總辦
事處ニ報告記録セシム

第十三 條 本規則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之
ヲ修正スルコトヲ得

第十四 條 本規則ハ省政府ニ申請シ認可ノ上之ヲ公布施行ス

安徽省各縣民工防汛隊實施辦法

- 第一條 本辦法ハ江蘇省、安徽省兩堤防及省地方ノ民工防汛隊ニ總テ之ヲ適用ス
- 第二條 民工防汛隊ハ各縣ノ縣防汛辦事處ニ於テ豫メ其ノ境界ヲ若干汎濫區ニ分割スベシ要害地ハ五杆ヲ一汎濫區トシ次要及普通ノ所ハ十杆又ハ二十杆ヲ一汎濫區トス其ノ順序ハ第一、第二ノ字ヲ之ニ冠シ他ハ之ニ倣フ
- 第三條 要害ナル汎濫區ハ一汛隊ヲ常駐セシメ次要及普通ナル所ハ二班又ハ一班ヲ常駐セシムベシ
但シ大汎濫ノ重大ナル期間ニ於テハ堤防附近十里外ノ住家ノ壯丁ヲ召集シテ臨時防汛隊ヲ組織シ之ヲ援助セシムルヲ除クノ外且應急教授スル爲之ヲ増減スルコトヲ得總テ各縣ノ縣防汛辦事處主任及副主任ニ於テ之ヲ處理ス

- 第四條 各汎濫區ノ用フベキ工具ハ各民工防汛隊ニ於テ之ヲ自備スルヲ除クノ外不足ナルトキハ隊長ヨリ主任、副主任ニ申請シ認可ノ上堤防附近ノ住家ニ對シ之ヲ借用スルコトヲ得
- 第五條 民工防汛隊ハ駐屯守備ニ備フル爲汎濫ノ駐屯地ニ草棚（草葺小屋）又ハ蘆棚（葦葺小屋）ヲ建設スベシ且豫メ各縣ノ縣防汛辦事處ニ於テ事前ニ一切ヲ完備スベク監督命令スベシ
- 第六條 各汛隊ハ大銅鑼一個ヲ買ヒ備ヘ以テ大汎濫ノ緊急ノ際之ヲ召集ニ使用シ竝ニ汎目、汎丁ノ特別注意ヲ促シ且日夜ヲ間ハズ繰返シ偵察シテ嚴密ニ防備保護スベシ
- 第七條 各汎濫區ノ搶險材料臨時使用ニ便ナラシムル爲豫メ各縣ノ縣防汛辦事處ノ主任、副主任ニ於テ汛隊々長ト協議ノ上適宜情況ニ應ジ之ヲ配備又ハ堆積スベシ
- 第八條 各縣ノ縣防汛辦事處ハ本辦法ヲ衆人ニ週知セシムル爲事

前ニ數百枚ヲ印刷シ各民工防汎隊々長ニ交付シテ之ヲ汎目、
 汎丁ニ各一枚分配スルモノトス
 第九條 本辦法ニ未ダ盡ザザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之
 ヲ修正スルコトヲ得
 第十條 本辦法ハ省政府ニ申請シ認可ノ上之ヲ公布施行ス

安徽省畢業國立大學學生獎學金暫行辦法

第一條 本辦法ノ適用範圍ハ國立大學ヲ修業シタル學生ニ限ル
 第二條 獎學金(學問獎勵金)ヲ受クル學生數ハ暫時十人ト定メ
 一人毎ニ一年一百元トシ省有ノ教育收入項目ヨリ之ヲ支給ス
 缺員アルトキハ成績ノ比較的優秀ナル者ヲ以テ順次補足ス
 第三條 左記各號資格ニ該當スル學生ニシテ前條規定ノ定員内ニ
 アルモノハ獎學金ヲ受領スルコトヲ得
 一 安徽省籍
 二 確カニ清貧ナル者
 三 體格健全、操行優良、學業成績平均八十點以上ノモノ
 四 同時ニ他種ノ公金補助ヲ受ケザルモノ
 上記第二項ニ稱スル清貧標準ハ學生ノ家庭ニシテ必要ノ生活
 費ヲ除クノ外確カニ學費ノ供給ニ無力ナル者ヲ謂フ

- 第四條 前條各號ニ該當スル學生ハ修業シタル大學ノ校長ニ於テ其ノ申請ニ依リ在校成績表ヲ作成シ並ニ考語(考科表)ヲ附記シテ安徽省政府ニ提出シ教育廳ニ命ジテ之ヲ審査スルヲ除クノ外且教育廳ニ於テハ原籍ノ縣長又ハ教育局長ニ命ジ夫々該學生ノ家庭狀況ヲ明査シ確カニ前條第二項ト相違ナキモノニ現リ始テ獎學金ヲ給與スルコトヲ得
- 第五條 獎學金ヲ受クル學生ニシテ本辦法第三條ノ一、二、三、四項ノ資格ニ對シ虛偽ノ申請又ハ虛報ノ事情アルヲ發覺シタルトキハ其ノ情況ニ應ジ夫々其ノ受領シタル獎學金ヲ追發又ハ給與ヲ停止スベシ
- 第六條 各大學ノ學生ニシテ獎學金ヲ申請スルトキハ入學後一學期ヲ經過シタル後ニ之ヲ行フベシ
- 第七條 獎學金ハ申請ノ學期ヨリ卒業ノ學期迄ヲ有効期間トス但

- シ學校ノ證明ヲ經テ別ノ國立大學ニ轉校シタルモノハ引續キ有効トス
- 第八條 獎學金ハ毎年二月及八月ノ二回ニ分チ學校ヲ經テ獎學金ヲ受クル學生ニ轉給スルモノトス
- 第九條 獎學金ヲ受ケタル學生ハ卒業後ノ二年内ニ於テハ教育廳ノ指定セル職ニ勤務スル義務ヲ有ス
- 第十條 本辦法ハ教育廳ヨリ隨時申請シテ之ヲ修改スルコトヲ得
- 第十一條 本辦法ハ省政府ニ申請シテ認可ノ上之ヲ施行シ且教育部ニ報告記録セシム